

**令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業  
(国内産長粒米等の生産技術のマニュアル化及び輸出可能性の検討・調査)  
調査報告書**

令和6年3月22日

## 内容

1	事業の背景・目的	1
2	調査結果	1
2.1	専門家等による日本産米輸出検討会の設置	1
2.1.1	第一回検討会	1
2.1.1	第二回検討会	3
2.2	輸出用米の来年度作付けに向けた調査等	5
2.2.1	実証圃場、品種等	6
2.2.2	使用資材・機械等	7
2.2.3	菌根菌の定量分析	7
2.2.4	次年度の実証に係る記録シート	7
2.3	長粒米市場の動向調査	9
2.3.1	調査対象国の選定	9
2.3.2	机上調査結果	15
2.3.3	現地調査	43

## 1 事業の背景・目的

将来的な人口増加や途上国の経済発展の要因により、世界の食料需給の構造が変化し、途上国を中心に食料の安定供給が課題となっている。また、新型コロナウイルスの感染拡大やウクライナ情勢による世界の食料生産やサプライチェーンへの悪影響から食料需給が逼迫し、肥料や食料価格の高騰が懸念されている。

加えて、多くの新興国（特にアフリカ諸国）では、地球温暖化など気候変動の影響（早魃など）やインフラ施設の未整備、必要な資金や技術不足を原因として、長年食料自給率が改善せず、主食である小麦などの穀物類の多くを輸入に依存しているため、直接的に世界情勢の影響（黒海からの輸入停止など）を被ることになる。

一方、日本産米の輸出にあたり最大の課題は、高い生産コストにあり、特にその主要部分を占める人件費、及び農業機械経費の縮減が必須となる。これに対して、微生物（菌根菌）によるバイオスティミュラント資材を活用した栽培技術では、乾田直播（湛水なし、代掻きなし、田植えなし）を可能にするため、生産コストの大部分を占める人件費と機械経費の削減が期待できる。さらに、同手法では、畑地や牧草地での水稻品種の栽培を可能にするため、均平（レベル）を取る必要がなく、また水管理（用水供給）も不要（天水供給で自活可能）となる。これは、中山間地や耕作放棄地対策に貢献することも期待できる。

このような状況を鑑み、輸出用米を国内で生産し、アフリカ、中南米などの新興国へ輸出することを目的として、輸出可能性の検討・調査及び日本国内における長粒米の生産技術をマニュアル化することとする。

## 2 調査結果

### 2.1 専門家等による日本産米輸出検討会の設置

専門家等による日本産米輸出検討会を農林水産省内の会議室で2回（2月上旬、3月上旬）に開催した。以下に、検討会の実施概要を示す。

#### 2.1.1 第一回検討会

##### (1) 参加者

第1回検討会の参加者は以下の通り。

表 1 参加者一覧

分類	団体・企業名	所在地	参加者
生産者	合同会社共和町ぴかいちファーム	北海道 共和町	オンライン：代表社員 山本 耕拓
	ヤマガタデザインアグリ株式会社	山形県 鶴岡市	オンライン：取締役 CEO 中篠 大希
	樺園芸株式会社	福島県 郡山市	対面：管理部長 柏原 孝輔 管理部 柏原 尉秀
	(株)ライス&グリーン石島	茨城県 下妻市	対面：代表取締役 石島 和美
	株式会社 ヤマザキライス	埼玉県 北葛飾郡	対面：代表取締役 山崎 能央

分類	団体・企業名	所在地	参加者
	株式会社サンフレッシュ海津	岐阜県海津市	オンライン：代表取締役 高木 健一
	トゥリーアンドノーフ株式会社	鳥取県鳥取市	対面：代表取締役 徳本 修一
	米井ファーム株式会社	岡山県津山市	オンライン：農場長 田邊 晃次
農業資材	シンジェンタジャパン株式会社	都内	オンライン：技術企画渉外部長 吉田 浩之 研究開発本部開発部除草剤マネジャー 池田 慎介
	アサヒバイオサイクル株式会社	都内	対面：サステナビリティ事業本部アグリ事業部長 上藪 寛士 サステナビリティ事業本部アグリ事業部担当部長 北川 隆徳
	バイオシード・テクノロジー株式会社	都内	対面：広瀬 陽一郎
	(株)伊藤総本家	北海道別海町	対面：代表取締役 伊藤 敏彦
研究機関	国立研究開発法人 理化学研究所	茨城県つくば市	オンライン：チームリーダー 市橋 泰範 特別研究員 山崎 真一 実習生 二川 倫
輸出	株式会社ゼンショーホールディングス	都内	対面：グループ MD 本部米穀部契約栽培課マネージャー 雨宮 将宏 グループ MD 本部米穀部契約栽培課 課長 殿塚 義信
	株式会社百笑市場	茨城県下妻市	対面：代表取締役社長 長谷川 有朋 取締役副社長 初澤 智幸
	豊田通商株式会社	都内	対面：グループリーダー 田中 大輔 主任 出口 拓郎 課長補 吉田 有里
担当省庁	農林水産省 輸出・国際局新興地域グループ		対面：対面：参事官 浅野 大介 国際専門官 佐伯 保則 係員 柏原 野々花 係員 佐藤 万里奈
	農林水産省 農産局企画課戦略的輸出事業者対策班		対面：課長補佐 高梨 暁人
	農林水産省 農産局穀物課稲生産班		対面：穀物課稲生産班稲生産係長 近 健人
	アイ・シー・ネット株式会社		対面：コンサルタント 淵上 雄貴 アソシエイト 藁科 拓実

## (2) 検討会要旨

第1回検討会の実施概要は以下の通り。検討会の配布資料、検討会の議事録は添付資料に示した。

表2 第1回検討会の要旨

会議名	令和5年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業（国内産輸出用米等の生産技術のマニュアル作成及び輸出可能性の検討・調査）第一回検討会
日時	令和6年2月2日(金)15:00~18:00
場所	農林水産省会議室（イコルームA）
参加者	別添検討会議事要旨参照
議題	<p><b>1. 生産実証に向けた論点</b></p> <p>(1) <u>生産・コスト記録、菌根菌等の効果定量分析</u> 記録用アプリの活用、菌根菌のPCR検査等、効果測定タイミングについて</p> <p>(2) <u>栽培パターンおよび実証圃場割り当て</u> ①（移植、直播）②（耕起、不耕起）③（湛水、節水、天水）④（BS資材有・無）等</p> <p>(3) <u>品種（長粒種、短粒種）・除草体系について</u> 品種選定（ほしじるし、しきゆたか等） 使用除草剤・タイミング</p> <p>(4) <u>実証用生産マニュアル作成について</u> 節水型乾田直播栽培に関する実証用生産マニュアル</p> <p>(5) <u>輸出実証に向けた論点</u> 輸出想定国、輸出入手続き・コスト、物流チェーン、試食会の実施、需要の高い品種、銘柄、競合商品、生産コスト目標値、市場規模等</p> <p><b>2. 第二回検討会に向けて</b></p> <p>(1) アフリカ、中南米、中央アジア等調査</p> <p>(2) 第二回検討会実施時期（令和6年3月上旬頃を予定）</p>

### 2.1.1 第二回検討会

#### (1) 参加者

第2回検討会の参加者は以下の通り。

分類	団体・企業名	所在地	参加者
生産者	合同会社共和町ぴかいちファーム	北海道共和町	オンライン：代表社員 山本 耕拓
	ヤマガタデザインアグリ株式会社	山形県鶴岡市	対面：取締役 COO 中篠 大希 オンライン：取締役 黒光 啓太
	楳園芸株式会社	福島県郡山市	対面：管理部長 柏原 孝輔 管理部 柏原 尉秀
	(株)ライス&グリーン石島	茨城県下妻市	対面：代表取締役 石島 和美
	株式会社 ヤマザキライス	埼玉県北葛飾郡	対面：代表取締役 山崎 能央
	トゥリーアンドノーフ株式会社	鳥取県鳥取市	対面：代表取締役 徳本 修一
	米井ファーム株式会社	岡山県津山市	対面：代表取締役 米井 崇恭
農業資	シンジェンタジャパン株式会社	都内	対面：技術企画渉外部長 吉田 浩之 研究開発本部開発部除草剤マネジャー 池田 慎介

分類	団体・企業名	所在地	参加者
材	アサヒバイオサイクル株式会社	都内	対面：サステナビリティ事業本部アグリ事業部長 上藪 寛士 オンライン：サステナビリティ事業本部アグリ事業 部担当部長 北川 隆徳
	バイオシード・テクノ ロジーズ株式会社	都内	対面：広瀬 陽一郎
	BASF ジャパン株式会社		対面：アグロソリューション事業部 シニアマネー ジャー 関根 真樹
研究機関	国立研究開発法人 理 化学研究所	茨城県 つくば市	オンライン：チームリーダー 市橋 泰範 特別研究員 山崎 真一 実習生 二川 倫
	農研機構農業環境研究 部門気候変動緩和策研 究領域緩和技術体系化 グループ		対面：農業環境研究部門 気候変動緩和策研究領域 緩和技術体系化グループグループ長 須藤 重人
輸出	株式会社ゼンショーホ ールディングス	都内	オンライン：グループ MD 本部米穀部契約栽培課マ ネージャー 雨宮 将宏 グループ MD 本部米穀部契約栽培課課長 殿塚 義信
	株式会社百笑市場	茨城県 下妻市	オンライン：代表取締役社長 長谷川 有朋
	豊田通商株式会社	都内	オンライン：グループリーダー 田中 大輔 主任 出口 拓郎 課長補 吉田 有里
担当 省庁	農林水産省 輸出・国際局新興地域 グループ		対面：参事官 浅野 大介 国際専門官 佐伯 保則 係員 柏原 野々花 係員 佐藤 万里奈 オンライン：国際調整官 川上 秀雄
	農林水産省 農産局企画課戦略的輸 出事業者対策班		対面：課長補佐 高梨 暁人 オンライン：戦略的輸出事業者対策係長 篠原 慎哉
	農林水産省 農産局穀物課稲生産班		対面：穀物課稲生産班稲生産係長 近 健人
	アイ・シー・ネット株式 会社		対面：コンサルタント 淵上 雄貴 アソシエイト 藁科 拓実 オンライン：コンサルタント 尾崎 寛幸

## (2) 検討会要旨

第 2 回検討会の実施概要は以下の通り。検討会の配布資料、検討会の議事録は添付資料に示した。

表 3 第 2 回検討会の要旨

会議名	令和 5 年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業（国内産輸出用米等の生産技術のマニュアル作成及び輸出可能性の検討・調査）第二回検討会
日時	令和 6 年 3 月 13 日(水) 15:00~18:00
場所	農林水産省イコルーム A（本館 4 階）
参加者	別添検討会議事要旨参照
議題	<p><b>1. 生産実証に向けた論点</b></p> <p>(1) 栽培パターンおよび実証圃場割り当て</p> <p>(2) 菌根菌等の効果定量分析          &lt;ご発表&gt; 国立研究開発法人 理化学研究所 バイオリソース研究センター          チームリーダー 市橋 泰範様</p> <p>(3) 生産・コスト記録、生産マニュアル作成について</p> <p>(4) 除草体系について          &lt;ご発表&gt; シンジェンタジャパン株式会社 研究開発本部開発部 除草剤マネジャー 池田 慎介様</p> <p>(5) 農業におけるカーボンのクレジットの活用、制度の整備等          &lt;ご発表&gt; 農研機構 農業環境研究部門 気候変動緩和策研究領域 緩和技術体系化グループ グループ長 須藤重人様</p> <p>(6) AI 農業、マイコス DDSR における BASF 製品技術の活用について          &lt;ご発表&gt; BASF ジャパン株式会社 アグロソリューション事業部 シニアマネージャー 関根 真樹様</p> <p><b>2. 輸出に向けた論点</b>          ケニア、メキシコ調査結果概要</p> <p><b>3. 来年度実施事項</b></p> <p>(1) 生産実証開始</p> <p>(2) メキシコ、ブラジル、ケニアにおける試食会</p>

## 2.2 輸出用米の来年度作付けに向けた調査等

来年度の作付けに向けて、実施ほ場、品種（種子）、土壌改良材、バイオスティミュラント資材、農業機械等の調達に係る調査等を実施した。調査にあたっては、来年度の実証栽培を行う生産者 8 者との個別協議及び第 1 回、第 2 回での議論を踏まえて、実証栽培の計画を策定した。

はじめに、来年度の実証栽培の概要を以下に示す。

表 4: 来年度の実証栽培の概要

項目	内容
目的	土壌微生物を活用した栽培技術を用いて、慣行栽培と比べて、低コストな米生産を実現するための栽培体系を実証する。
実証場所	過年度業務で選定された国内生産者（8 者）の圃場。
実証期間	令和 6 年度の米生産の作付けから収穫の時期となる、令和 6 年 4 月～11 月頃。
実証の実施方法	国内生産者の圃場の一部において、次に示す栽培条件において米生産を行う。各生産者と生産者の圃場ごとの生産、コストに関するデータを収集する。収集したデータを分析し、土壌微生物を活用した低コストな米生産の栽培体系について分析し、整理する。

## 2.2.1 実証圃場、品種等

次年度の栽培実証は、輸出用にコストを抑えた米を生産することを目的としている。そのため、栽培条件は、米の生産コストに影響が大きい要素である、「①移植／直播」、「②耕起／不耕起」、「③水管理（湛水／節水／天水）」の体系ごとに栽培条件を場合分けしたうえで、「④バイオスティミュラント資材の有り／無し」の栽培パターンを実施する（図 1）。さらに、収穫後に伸びてくる「ひこばえ」を实らせてもう一度収穫する「再生二期作」での増産実証を行う。

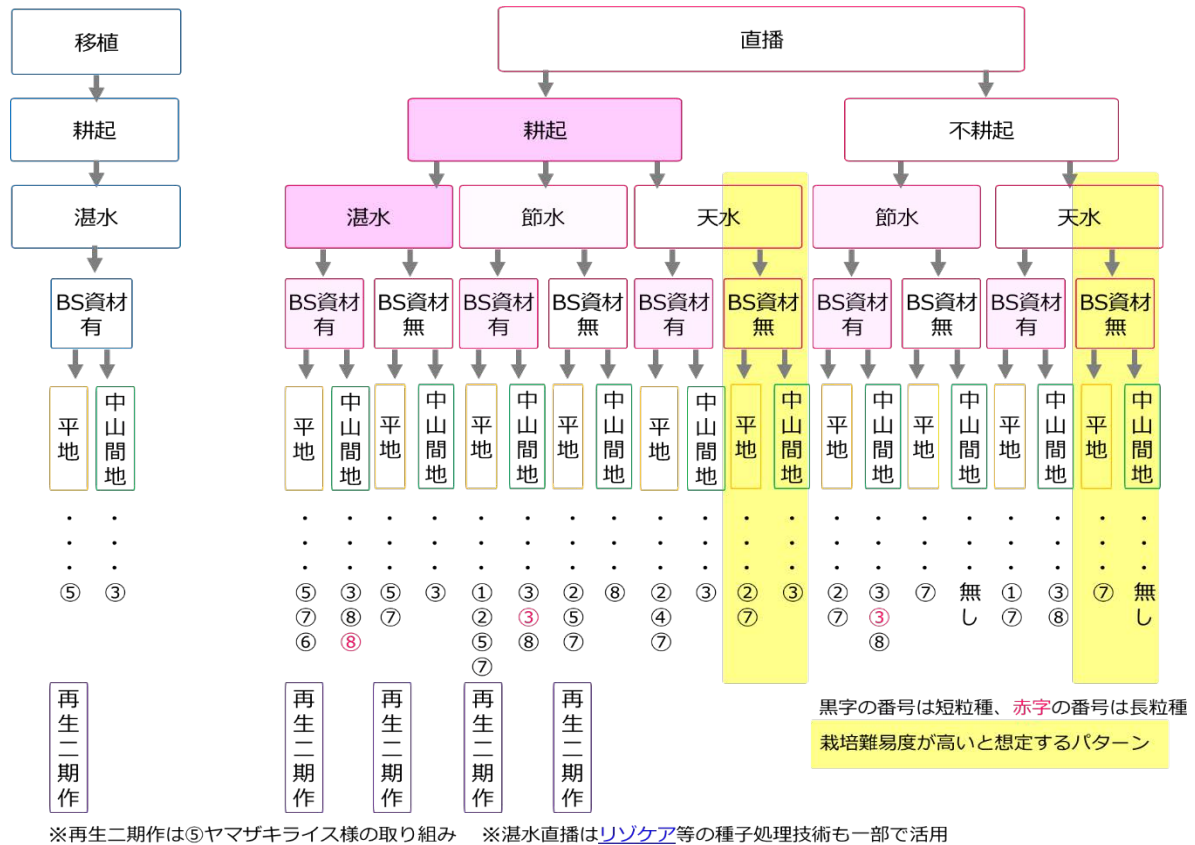


図 1 栽培実証における栽培条件

注 1：「BS 資材」はバイオスティミュラント資材を指す。

注 2：水管理の定義は、湛水（慣行栽培と同様に水を張る）、節水（水張りを行わず、走水などのみ）、天水（雨水のみ）。

表 5 実証予定の生産者、作付け予定品種（括弧書きの品種が長粒種）

番号	次年度に実証予定の生産者	都道府県	平地/中山間地	作付け予定品種
①	ピカイチファーム	北海道	平地	きたくりん
②	ヤマガタデザインアグリ	千葉県	平地	コシヒカリ、ふさこがね、C1
③	樺園芸	福島県	中山間地	しきゆたか、(華麗米)
④	ライス&グリーン石島	茨城県	平地	虹のきらめき
⑤	ヤマザキライス	埼玉県	平地	虹のきらめき、あきたこまち、ほしじるし
⑥	サンフレッシュ海津	岐阜県	平地	しきゆたか、ほしじるし
⑦	TREE&NORF	鳥取県	平地	きぬむすめ
⑧	米井ファーム	岡山県	中山間地	ほしじるし、虹のきらめき、ほしじるし、(華麗米)

## 2.2.2 使用資材・機械等

次年度の実証で各生産者が使用する資材、農業機械等については、生産者及び発注元との協議を踏まえ、農業機械については、各生産者が所有する機械を使用することとして、厳密に統一しないこととした。資材については、実証での使用を推奨するバイオスティミュラント資材、農薬、除草剤、肥料等を、生産マニュアルに取りまとめた。特に、バイオスティミュラント資材については、生産者や資材会社等の関係者との協議を踏まえ、直播体系で湛水なしでも稲の生育を促進する効果が高いと考えられる菌根菌資材を使用することとした。推奨資材の詳細については、「2.4 日本産米の輸出実証に向けた生産マニュアルの作成」に記載した。

次年度の実証に取り組む生産者は、低コストな米生産という観点で、優れた実績を持つ生産者が選定されている。そのため、各生産者の生産条件に適し、生産者が熟知した資材や技術を用いることで、低コストな米生産という実証の目的をより達成しやすくなる。

## 2.2.3 菌根菌の定量分析

次年度の実証において、研究機関による菌根菌の定量分析を実施する予定である。これは、バイオスティミュラント資材を使用して低コストな米生産に取り組むにあたり、バイオスティミュラント資材として使用する菌根菌が稲に感染しているかを科学的に調査する目的で実施する。

菌根菌の定量分析の概要は、以下表に示した。

表 6 菌根菌の定量分析の概要

項目	内容
目的	菌根菌が稲に感染したかを科学的に分析する。それにより、菌根菌資材の活用により、直播体系かつ水分環境が厳しい無湛水の条件などでも稲の生育が促進されることとの相関関係を分析する。
分析内容	菌根菌の存在、何種類の菌根菌が存在するか、各菌根菌の種類ごとの割合
解析概要	稲の根サンプルを、菌根菌資材を投入した圃場、菌根菌資材を投入していない比較用圃場からそれぞれ取得し、DNA 情報を解析する。
採取時期	出穂期（7月下旬～8月上旬頃）
作業の流れ	生産者が稲の根サンプルを採取し、土を落とす、生産者や採取日、栽培条件などの情報を記載した袋に入れるなどの簡易処理をしたうえで、研究機関に発送する。研究機関でサンプルを受け取った後に、解析を行う。

菌根菌の定量分析にあたってのサンプリング方法は、第2回検討会で、研究機関から生産者に対して説明した。根採取（サンプリング）の対応マニュアルは、添付資料を参照のこと。

## 2.2.4 次年度の実証に係る記録シート

次年度の実証では、生産者が使用する資材が異なるため、使用する資材の種類や使用量については、統一様式で記録し、収量や生産コストへの影響を分析することとした。

記録様式は、①収支記録、②圃場・生産記録の2種類を作成した。①収支記録については、栽培パターンや生産者ごとの実証圃場の収量あたり収支のデータを記録し、慣行栽培と比べてどの程度、低コストな米生産を実現できるか分析する。②圃場・生産記録については、実証圃場ごとの栽培パターン、圃場環境、品種、圃場前歴、栽培技術、資材投入（BS 資材、肥料、除草剤、農薬）、

機械体系等を記録し、稲の生育や収量にどのような影響がでるかを分析する。

記録シートの概要を以下表に示した。

表 7 記録シートの概要

項目	内容
記録様式	実証圃場での米生産の収支を記録する収支記録、及び圃場環境や生産条件を記録する圃場・生産記録の2種類。
記録方法	事務局の指定する統一フォーマット (Microsoft Excel) で、生産者が記録を入力する。
記録項目の概要	収支記録：農林水産省統計「米生産費」と同じ収支費目。 圃場・生産記録：生産者名、圃場の名称・場所・地目・面積、栽培パターン、品種、圃場前歴、過去の耕起状況、補助湯の水位・排水性の状況、種子処理技術、播種方法、作業・生育情報（写真）等。
分析の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオスティミュラント資材の「有り」⇔「無し」での比較検証：各栽培条件について、「バイオスティミュラント資材有り」、「バイオスティミュラント資材無し」の両方のパターンを実証する。それにより、バイオスティミュラント資材を活用した低コストな米生産の効果を、生産コストや収量の面で比較検証することができる。</li> <li>慣行栽培とバイオスティミュラント資材を活用した栽培体系での比較検証：以下の方法で慣行栽培に関するデータも収集することで、バイオスティミュラント資材を活用した栽培と、慣行栽培の生産コストや収量の比較検証も行う。なお、慣行栽培の収量や生産コストについては、各生産者の実績値、生産者の近隣の普及局から聞き取った同一品種の平均値、農林水産省統計「米生産費」などを参照して情報収集することを想定している。</li> <li>生産者間の栽培方法や圃場条件による比較検証：国内参加者は、上記の栽培パターンが同じ場合でも、平地／中山間地、圃場環境や栽培品種、経営規模、農業機械、肥料や農業薬剤、栽培技術（種子処理、播種方法、除草や施肥等）が異なる。これらの栽培方法や圃場条件に関する記録を収集することで、生産コストや収量の比較検証を行う。</li> </ul>

なお、記録にあたっては、生産者の利用するスマート農業アプリケーションを活用し、生産者の日常業務の中で記録するデータを活用する。具体的には、圃場面積、資機材や農業薬剤の種類、機械の種類、播種量、労働時間、コスト（労働費、種苗費、資機材費、農業薬剤費、機械費など）のデータを、アプリを通じて出力できるため、それらの記録を活用することで、生産者の記録の負担を抑える。

さらに、収支記録にあたっては、農林水産省統計「米生産費」と同じ費目で統一し、本事業で実証する栽培体系と関連が薄い費目（例えば、税金、生産管理費等）については、当該統計の作付規模別の生産費のデータを用いる予定。これにより、生産者の記録の負担を抑えつつ、全国平均の生産費と容易に比較検証ができる。

記録シートは、添付資料を参照のこと。

## 2.3 長粒米市場の動向調査

輸出先及び輸出用米の品種等の検討のため、長粒米市場の動向調査を実施した。

### 2.3.1 調査対象国の選定

#### (1) 選定方法

調査対象国の選定にあたっては、以下の手順で実施した。

1. アフリカ、中央アジア、中南米について、デスクトップ調査によって統計情報などを情報収集、整理し、調査対象国案を選定する。
2. 選定した調査対象国について、基礎的な社会経済情報や米市場に関する簡易調査を行い、調査対象国として適当かを確認する。
3. 検討会にて、最終的な調査対象国について合意を図る。

調査対象国の選定にあたっては、日本からの米輸出の可能性を判断するために関連性の高い、「指標1：輸入米の需要の高さ」、「指標2：国の所得水準の高さ」、「その他考慮事項：日本産米の輸出にかかるビジネスの行いやすさ」の3指標を選定基準として用いた。

表 8 調査対象国の選定基準

選定基準	説明(有望な米輸出先国に関する仮説)	指標
指標1：輸入米の需要の高さ	輸入米市場の規模が大きく、米輸入の需要が高い国は、有望な日本産米の輸出先国になる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 米輸入金額(3年平均)</li><li>• 米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合(重量ベース、3年平均)</li><li>• 米自給率</li><li>• 米消費量</li></ul>
指標2：国の所得水準の高さ	アフリカなどの新興国の米市場では、現地産米や安価な外国産米と比較して、日本産米は、“やや高価な外国産米”となる可能性が高い。そのため、最貧国よりは、ある程度、所得水準が高い国が、有望な日本産米の輸出先国になる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 一人当たり国民総所得(GNI)</li></ul>
その他考慮事項：日本産米の輸出にかかるビジネスの行いやすさ	本事業は、従来の日本産米の輸出実績の少ない新興国を調査対象地域としている。そのため、次年度の輸出実証や、事業開始時には、本事業に関心があり、輸出先国のネットワークを持つ輸出入会社などのビジネスパートナーが存在することが重要。また、ビジネスの行いやすさとして公用語が英語かどうかも考慮する。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本事業に関心を持ち、調査対象地域のネットワークを持つ輸出入会社の存在</li><li>• 公用語</li></ul>

調査対象地域である中南米地域、アフリカ地域、中央アジア地域の関連指標の調査結果を次表に示す。3指標を考慮した結果、中南米地域ではメキシコ、ブラジル、ペルーの3か国、アフリカ地域ではコートジボワール、南アフリカ、ケニア、エジプトの4か国、中央アジア地域ではカザフスタン、ウズベキスタンの2か国が米輸出先国として有望だった。

表 9 中南米地域の関連指標(米輸入金額の高い順)

		国名	指標 1		米自給率 (2021年、 重量ベース)	米消費量 (2020、千 トン)	指標 2	
			米輸入金額 (1000USD、 年あたり、3 年平均)	米輸入に占めるインドの 非バスマティ米輸入割合 (重量ベース、3年平 均)			一人当たり GNI (USD/人) ※赤、 黄色、緑の順に高い	公用語 ※赤は英語を含む
中南米 (33カ 国中の 上位25 カ国)	1	Venezuela	445,278	—	49%	—	130,10	スペイン語
	2	<b>Mexico</b>	421,391	0%	21%	1,015	10,820	スペイン語
	3	Cuba	404,997	6%	—	1,198	—	スペイン語
	4	<b>Brazil</b>	368,280	2%	101%	2,042	8,140	ポルトガル語
	5	Haiti	295,999	1%	19%	599	1,610	フランス語
	6	<b>Peru</b>	143,311	—	91%	1,931	6,740	スペイン語
	7	Chile	107,595	3%	33%	839	15,360	スペイン語
	8	Colombia	100,310	0%	99%	1,114	6,500	スペイン語
	9	Costa Rica	88,602	0%	55%	699	12,920	スペイン語
	10	Honduras	70,448	—	24%	2,039	2,750	スペイン語
	11	Guatemala	65,952	0%	16%	228	5,350	スペイン語
	12	Nicaragua	61,154	0%	78%	501	2,090	スペイン語
	13	Jamaica	50,805	0%	0%	103	5,760	英語
	14	El Salvador	44,941	—	17%	124	4,720	スペイン語
	15	Panama	36,219	—	90%	541	16,960	スペイン語
	16	Trinidad and Tobago	22,656	—	0%	27	16,190	英語
	17	Dominican Republic	20,422	—	95%	815	9,050	スペイン語
	18	Bahamas	10,539	0%	—	8	—	英語
	19	Bolivia (Plurinational State of)	5,742	—	98%	—	—	スペイン語、ケチュア語、ア イマラ語を中心に先住民言 語 36 言語
	20	Saint Lucia	4,235	—	—	2	—	英語
	21	Barbados	4,146	1%	—	4	19,490	英語
	22	Argentina	2,520	—	139%	567	11,590	スペイン語
	23	Saint Vincent and the Grenadines	2,398	—	0%	1	—	英語
	24	Antigua and Barbuda	1,776	—	—	1	19,050	英語
	25	Grenada	1,592	—	—	1	9,070	英語

出典：米

輸入金額、米自給率は FAOSTAT。一人当たり GNI は世界銀行。米輸入に占めるインドの非バスマティの輸入割合は、インド商工省の Agricultural and Processed Food Products Export Development Authority (APEEDA)。米消費量は 2023 World Population Review。

注釈：一人当たり GNI は 3000USD/人以上が赤、2000~3000USD/人が黄色、2000USD/人未満が緑いろ。が米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合は、「2021 年年度～2023 年年度の 3 年間のインドからの米輸入量÷2020～2022 年の 3 年間の米輸入総量」で計算した。米自給率は「米生産量÷(米生産量+米輸出量-米輸入量)」で計算。日本側の輸出入会社は関係者への聞き取り

表 10 アフリカ地域の関連指標(米輸入金額の高い順)1/2

	国名	指標 1	指標 2					
		米輸入金額 (1000USD、年あたり、3年平均)	米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合(重量ベース、3年平均)	米自給率 (2021年、重量ベース)	米消費量 (2020、千トン)	一人当たり GNI (USD/人) ※ 赤、黄色、緑の順に高い	公用語 ※赤は英語を含む	
アフリカ (54カ国中の 上位25カ国)	1	Côte d'Ivoire	695,388	70%	42%	N/A	2,620	フランス語
	2	Benin	565,597	112%	20%	1,015	1,400	フランス語
	3	South Africa	509,920	22%	0%	1,198	6,780	英語、アフリカーンス語、パンツァー諸語等の11が公用語
	4	Ghana	502,303	10%	50%	2,042	2,380	英語
	5	Ethiopia	485,647	7%	8%	599	1,020	アムハラ語、オロモ語、英語等
	6	Senegal	485,018	91%	46%	1,931	1,620	フランス語
	7	Niger	412,279	11%	14%	839	580	フランス語
	8	Cameroon	329,780	55%	22%	1,114	1,640	フランス語、英語
	9	Angola	327,275	50%	1%	699	1,880	ポルトガル語
	10	Guinea	326,141	90%	61%	2,039	1,190	フランス語
	11	Mozambique	315,037	21%	7%	1,171	440	ポルトガル語
	12	Kenya	273,569	48%	16%	1,162	2,170	スワヒリ語、英語
	13	Madagascar	258,799	83%	82%	3,986	510	マダガスカル語、フランス語
	14	Somalia	240,822	80%	—	—	600	ソマリ語、アラビア語
	15	Djibouti	172,709	98%	—	53	3,310	アラビア語、フランス語
	16	Sierra Leone	158,462	40%	76%	1,259	600	英語
	17	Uganda	153,173	1%	24%	451	930	英語、スワヒリ語、ルガンダ語
	18	Liberia	151,791	97%	29%	559	680	英語
	19	Zimbabwe	130,125	2%	—	27	1,710	英語、ショナ語、ンデベレ語
	20	Egypt	124,662	18%	92%	4,929	4,100	アラビア語、都市部では英語も通用
	21	Rwanda	110,339	5%	48%	207	930	ルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
	22	Burkina Faso	103,492	14%	51%	479	850	フランス語、モシ語、ディウラ語、グルマンチェ語、ブル(フラニ)語等約60言語
	23	Algeria	80,186	69%	0%	209	3,920	アラビア語、ベルベル語、フランス語
	24	Gabon	60,662	2%	2%	105	7,530	仏語
	25	Libya	57,345	8%	—	137	7,260	アラビア語

出典：米輸入金額、米自給率はFAOSTAT。一人当たりGNIは世界銀行。米輸入に占めるインドの非バスマティの輸入割合は、インド商工省のAgricultural and Processed Food Products Export Development Authority (APEEDA)。米消費量は2023 World Population Review。

注釈：一人当たりGNIは3000USD/人以上が赤、2000~3000USD/人が黄色、2000USD/人未満が緑いろ。が米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合は、「2021年年度~2023年年度の3年間のインドからの米輸入量÷2020~2022年の3年間の米輸入総量」で計算した。米自給率は「米生産量÷(米生産量+米輸出量-米輸入量)」で計算。日本側の輸出入会社は関係者への聞き取り。

表 11 アフリカ地域の関連指標(米輸入金額の高い順) 2/2

		国名	指標 1				指標 2	
			米輸入金額 (1000USD、年あたり、3年平均)	米輸入に占めるインドの非バスマティ米 輸入割合(重量ベース、3年平均)	米自給率 (2021年、 重量ベース)	米消費量 (2020、 千トン)	一人当たり GNI (USD/人) ※ 赤、黄色、緑の 順に高い	公用語 ※赤は英語を含む
アフリ カ (54 カ 国 中 の 上 位 26-50 カ 国)	26	Gambia	54,999	37%	—	230	—	英語
	27	Mauritius	54,346	20%	0%	73	10,360	英語
	28	Mali	53,446	13%	83%	1,478	850	フランス語
	29	Togo	52,183	310%	20%	199	1,010	フランス語
	30	Democratic Republic of the Congo	48,064	38%	85%	—	610	フランス語
	31	Congo	47,698	74%	1%	—	2,290	フランス語
	32	Sudan	43,098	56%	—	151	760	アラビア語
	33	Guinea-Bissau	39,188	—	—	276	820	ポルトガル語
	34	Morocco	37,415	46%	42%	120	3,670	アラビア語、ベルベル語
	35	Botswana	35,885	0%	—	36	7,430	英語、ツワナ語
	36	Comoros	31,503	15%	—	85	1,610	フランス語・アラビア語・コモロ語
	37	Mauritania	25,382	5%	—	339	2,080	アラビア語
	38	Eswatini	22,845	1%	2%	42	3,750	英語、スワティ語
	39	Cabo Verde	21,855	—	—	—	3,950	ポルトガル語
	40	Tunisia	16,047	4%	—	20	3,830	アラビア語、フランス語
	41	Zambia	15,789	1%	71%	43	1,240	英語
	42	Namibia	14,859	53%	—	20	5,010	英語
	43	Equatorial Guinea	14,174	—	—	—	5,240	スペイン語、仏語、ポルトガル語
	44	Nigeria	13,738	5%	100%	8,628	2,160	英語
	45	Central African Republic	11,221	6%	—	25	480	フランス語、サンゴ語
	46	Chad	11,081	0%	—	224	690	仏語、アラビア語
	47	South Sudan	10,461	3%	—	39	—	英語
	48	Burundi	10,168	3%	—	102	240	仏語、キルンジ語
	49	Seychelles	7,150	11%	—	5	12,010	英語、仏語、クレオール語
	50	Sao Tome and Principe	6,908	—	—	9	2,400	ポルトガル語

出典：米輸入金額、米自給率はFAOSTAT。一人当たり GNI は世界銀行。米輸入に占めるインドの非バスマティの輸入割合は、インド商工省の Agricultural and Processed Food Products Export Development Authority (APEEDA)。米消費量は 2023 World Population Review。

注釈：一人当たり GNI は 3000USD/人以上が赤、2000~3000USD/人が黄色、2000USD/人未満が緑いろ。が米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合は、「2021 年年度~2023 年年度の 3 年間のインドからの米輸入量÷2020~2022 年の 3 年間の米輸入総量」で計算した。米自給率は「米生産量÷(米生産量+米輸出量-米輸入量)」で計算。日本側の輸出入会社は関係者への聞き取り。

表 12 中央アジア地域の関連指標 (米輸入金額の高い順)

		国名	指標 1		米自給率 (2021年、重量ベース)	米消費量 (2020、千トン)	指標 2	
			米輸入金額 (1000USD、年あたり、3年平均)	米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合 (重量ベース、3年平均)			一人当たり GNI (USD/人) ※ 赤、黄色、緑の順に高い	公用語 ※赤は英語を含む
中央アジア (全5カ国)	1	Tajikistan	11,092	0%	—	152	1,210	タジク語 (ロシア語も広く使用)
	2	<b>Kazakhstan</b>	5,718	4%	81%	192	9,620	ロシア語 (国語：カザフ語)
	3	<b>Uzbekistan</b>	4,298	0%	89%	315	2,190	ウズベク語 (ロシア語も広く使用)
	4	Kyrgyzstan	4,237	—	78%	47	—	ロシア語 (国語：キルギス語)
	5	Turkmenistan	3,031	2%	98%	130	—	トルクメン語 (ロシア語も広く使用)

出典：米輸入金額、米自給率は FAOSTAT。一人当たり GNI は世界銀行。米輸入に占めるインドの非バスマティの輸入割合は、インド商工省の Agricultural and Processed Food Products Export Development Authority (APEEDA)。米消費量は 2023 World Population Review。

注釈：一人当たり GNI は 3000USD/人以上が赤、2000~3000USD/人が黄色、2000USD/人未満が緑いろ。が米輸入に占めるインドの非バスマティ米輸入割合は、「2021 年年度~2023 年年度の 3 年間のインドからの米輸入量÷2020~2022 年の 3 年間の米輸入総量」で計算した。米自給率は「米生産量÷(米生産量+米輸出量-米輸入量)」で計算。日本側の輸出入会社は関係者への聞き取り。

## (2) 調査対象国の選定結果

調査対象国の選定結果から、各地域から、有望な調査対象として以下を想定している。

優：(中南米) メキシコ、ブラジル、(アフリカ) ケニア

良：(中央アジア) ウズベキスタン、カザフスタン、(中南米) ペルー、(アフリカ) 南アフリカ、コートジボワール、エジプト

表 13 調査対象国案と選定理由

地域名・国名	選定理由
中南米地域 (優先度：優) メキシコ	米輸入市場が中南米地域で2番目に大きい(421,391千USD)。米自給率が低い(21%)ため、今後も輸入米需要が高いと考えられる。一人あたりGNIが高い(10,820USD/人)。2023年3月に輸入解禁。
(優先度：優) ブラジル	米輸入市場が中南米地域で4番目に大きい(368,280千USD)。米消費量が多い(2,042千トン)。なお、ブラジルは米生産量が非常に大きい(11,661千トン)ため、米自給率が101%と高いが、米輸入も中南米の中で大きく、今後も輸入米需要は高いと考えられる。一人あたりGNIが高い(8,140USD/人)。
(優先度：良) ペルー	米輸入市場が中南米地域で6番目に大きい(143,311千USD)。米消費量が多い(1,931千トン)。なおペルーは米生産量が多い(3,474千トン)ため、米自給率が91%と高いが、米輸入も中南米の中で大きく、今後も輸入米需要は高いと考えられる。一人あたりGNIが高い(6,740USD/人)。現在、コメ輸入解禁に向けて協議中。
アフリカ地域 (優先度：優) ケニア	輸入米市場(金額ベース)がアフリカ地域の中で大きい(273,569千USD)。2023年に精米の輸出規制がされたインドの非バスマティ米の輸入割合が高く(50%)、米自給率は低い(16%)ため、今後も輸入米需要が高いと考えられる。一人あたりGNIがアフリカ地域のなかでは高い(2,170USD/人)。英語圏でビジネスを行いやすい。
(優先度：良) 南アフリカ	米輸入市場がアフリカ地域で3番目に大きい(509,920千USD)。また、米輸入に占めるインドの非バスマティ米の輸入割合は一定程度あるため(20%)、喫緊での米輸入需要は高まっていると考えられる。一人あたりGNIがアフリカ地域の中で高い(6,780USD/人)。
(優先度：良) コートジボワール	米輸入市場がアフリカ地域で最も大きく(695,388千USD)、米輸入に占めるインドの非バスマティ米の輸入割合が高く(70%)、米自給率は高くはない(42%)ため、今後も輸入米需要が高いと考えられる。一人あたりGNIがアフリカ地域の中で比較的高い(2,620USD/人)。
(優先度：良) エジプト	米輸入市場がアフリカ地域では比較的大きく(124,662千USD)、米消費量も大きい(4,929千トン)。一人あたりGNIがアフリカ地域の中で高い(4,100USD/人)。英語圏でビジネスを行いやすい。
中央アジア地域 (優先度：良) ウズベキスタン	米輸入市場が中央アジアで3番目に大きい(4,298千USD)。米輸入市場は中央アジアで2番目に大きいカザフスタンとほぼ同等で、カザフスタンよりも人口が約1.8倍大きく(3,516万人)、市場ポテンシャルが大きい。一人あたりGNIは、米輸入市場が中央アジアで一番大きいタジキスタンよりも高い(2,910USD/人)。なお、中央アジアは、アフリカ地域や中南米地域と比べて、輸入米市場や米消費量が小さいため、“良”としている。
(優先度：良) カザフスタン	米輸入市場が中央アジアで2番目に大きい(5,718千USD)。米消費量は、中央アジアではウズベキスタンに次いで2番目に大きい(192千トン)。一人あたりGNIが高い(9,620USD/人)。

## 2.3.2 机上調査結果

調査対象国として選定された9カ国について、長粒米動向調査の机上調査を実施した。

### (1) メキシコ

米以外を主食とする中南米地域のため、やや一人当たり米消費量が少ないが、米輸入金額は安定しており、米輸出より輸入の方が多。

表 14 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	約1億2,601万人
公用語	スペイン語
宗教	カトリック(人口の約70%)など
GDP	14,140億USD
1人当たりのGNI	10,820USD
経済成長率	2.1%
貧困線以下の人口	41.9%

出典：外務省，2023，「メキシコ合衆国 (United Mexican States) 基礎データ」，  
外務省ホームページ，(2024年1月10日取得，<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/data.html>)。  
The World Bank，2022，“GNI per capita, Atlas method (current US\$)”，(Retrieved from January 10, 2024, <https://data.worldbank.org/indicator/NY.GNP.PCAP.CD>)。  
The World Factbook，2023，“Mexico”，(Retrieved from January 10, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/mexico/>)。

表 15 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：1,159 (千 t) 一人当たり米消費量：8.99kg/年
米輸出入	米輸出入 (金額)： 輸出：3,936 (千 USD)、輸入：421,391 (千 USD) 輸出入バランス (輸出－輸入)：-417,454 (千 USD) 米輸出入 (量)： 輸出：4,718t、輸入：678,049t 輸出入バランス (輸出－輸入)：-673,330t 主要な米輸入元国： アメリカ合衆国：313 (百万 USD)、ウルグアイ：167 (百万 USD)、ブラジル：8.3 (百万 USD)

出典：The Observatory of Economic Complexity (OEC)，2021，“Rice in Mexico”，(Retrieved from January 10, 2024, <https://oec.world/en/profile/bilateral-product/rice/reporter/mex>)。



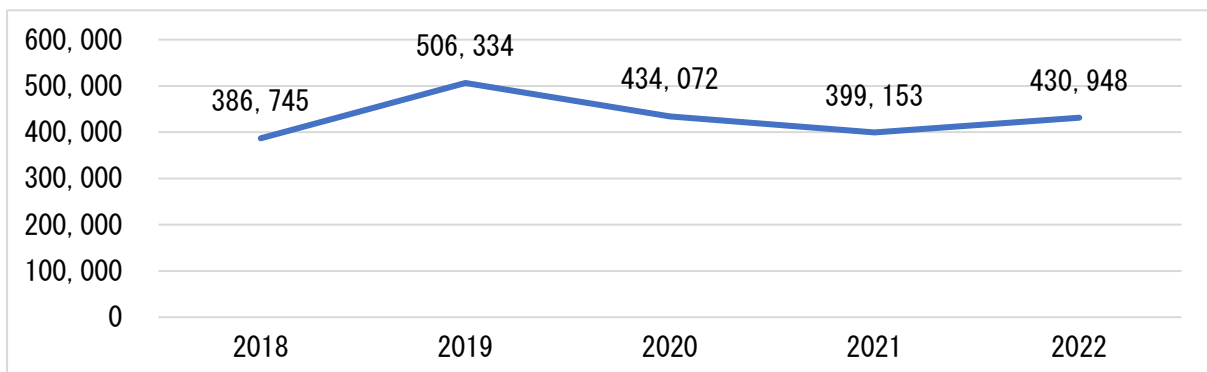
出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/gIEWS/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>

図 2 米の月間価格

表 16 小売市場における米の月間価格動向

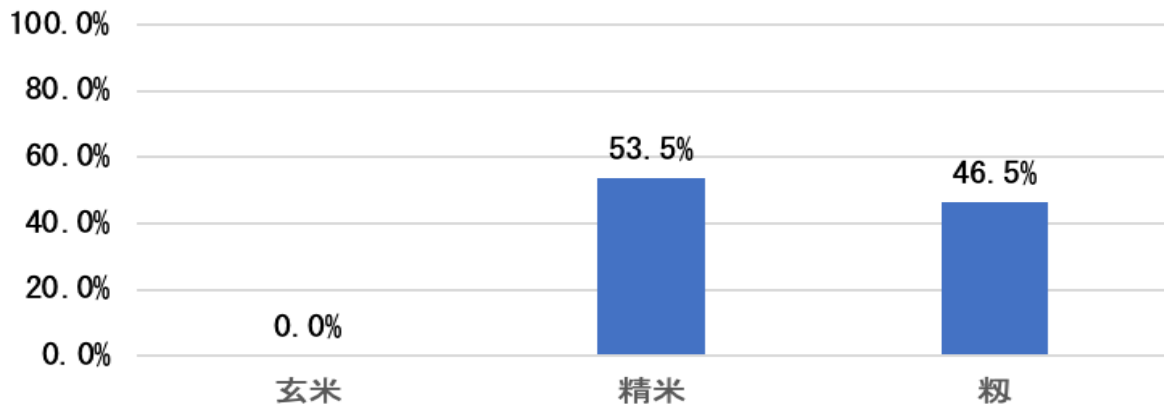
シリーズ	開始日	終了日	件数	変化率 (%)	平均価格	標準偏差	最低価格	最低価格の日付	最高価格	最高価格の日付	価格範囲
BRL/kg	Jan-21	Dec-23	36	2.21	5.14	0.31	4.61	Feb-22	6.02	Oct-23	1.41

出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/gIEWS/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>



出典：FAOSTAT から作成。

図 3 米の月間価格



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粳の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 4 輸入米の種類(玄米・精米・粳)

表 17 メキシコに関する輸出入手続きと必要書類概要

輸出入許可申請	輸入許可申請には経済省、SAT 税関総局、国防省など複数の官庁が関与し、申請前に一般輸入業者登録や通関士登録などの基本登録が必要。特殊登録には部門別の要件があり、ペーパーレス通関制度では「単一窓口」ユーザー登録と「デジタル印章」の取得が求められる。
必要書類等	2012年よりペーパーレス通関が導入され、通関書類をPDF形式で税関の電子システムへ事前送信する必要がある。このシステムは、輸出入申告書に添付される書類の電子化とインボイスなどの価格証明書類の事前電子送信を義務付けている。通関手続きには税関法に基づく複数の書類が必要であり、価格証明書類は「電子価格証明書 (COVE)」として電子化し送信される。輸出入業者はメキシコ貿易デジタル窓口（単一窓口）でユーザー登録を行い、すべての手続きを電子的に完了させる必要がある。
査証	特になし

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). メキシコの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/cs\\_america/mx/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/mx/trade_05.html)

表 18 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市名	米ドル	現地通貨	備考
アグアスカリエンテス	5,520	107,080	都市名：アグアスカリエンテス市 最寄り港：マンサニージョ港 積み出し港：横浜港 対日輸入：横浜港→マンサニージョ港→アグアスカリエンテス市 陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 港湾ターミナル利用料金、通関経費は除く。
イラプアト	4,610	89,427	都市名：イラプアト市 最寄り港：マンサニージョ港 積み出し港：横浜港 対日輸入：横浜港→マンサニージョ港→イラプアト市 陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 港湾ターミナル利用料、通関経費は除く。
ケレタロ	4,950	96,023	都市名：ケレタロ市

都市名	米ドル	現地通貨	備考
			最寄り港：マンサニージョ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→マンサニージョ港→ケレタロ市  陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 ターミナル利用料、通関経費は除く。
サンルイスポ トシ	5,510	106,886	都市名：サンルイスポトシ市 最寄り港：マンサニージョ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→マンサニージョ港→サンルイスポトシ市  陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 ターミナル利用料、通関経費は除く。
ティファナ	2,500	48,496	都市名：ティファナ市 最寄り港：エンセナーダ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→エンセナーダ港→ティファナ市  陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 ターミナル利用料、通関経費は除く。
メキシコシ テイ	5,160	100,096	都市名：メキシコ市 最寄り港：マンサニージョ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→マンサニージョ港→メキシコ市  陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 ターミナル利用料、通関経費は除く。
モンテレイ	5,460	105,916	都市名：モンテレイ市 最寄り港：マンサニージョ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→マンサニージョ港→モンテレイ市  陸上輸送費を含む。海上運賃はBAF（燃料割増料金）を除く。 ターミナル利用料、通関経費は除く。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022年度 中南米投資関連コスト比較調査 (2023年3月) JETRO <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/a55602863753dd86.html>

表 19 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
メキシコ	インディカ	メシーカ	メキシカンライス

出典：公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構。「世界の米の生産量と米の種類」。(2024年1月20日取得, [https://www.komenet.jp/nandemobook/documents/\\_04-08w.pdf](https://www.komenet.jp/nandemobook/documents/_04-08w.pdf)) .

## (2) ブラジル

米生産国のため、米輸出量も大きいですが、米輸入量も大きく、米輸入金額は安定して高い。

表 20 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	約 2 億 1,531 万人
公用語	ポルトガル語
宗教	カトリック約 65%、プロテスタント約 22%、無宗教 8%
GDP	1 兆 9,200 億 USD
1 人当たり GNI	8,140USD
経済成長率	2.9%
貧困線以下の人口	4.2%

出典：外務省，2023，「ブラジル 基礎データ」，外務省ホームページ，（2024 年 1 月 20 日取得，<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brazil/data.html>）

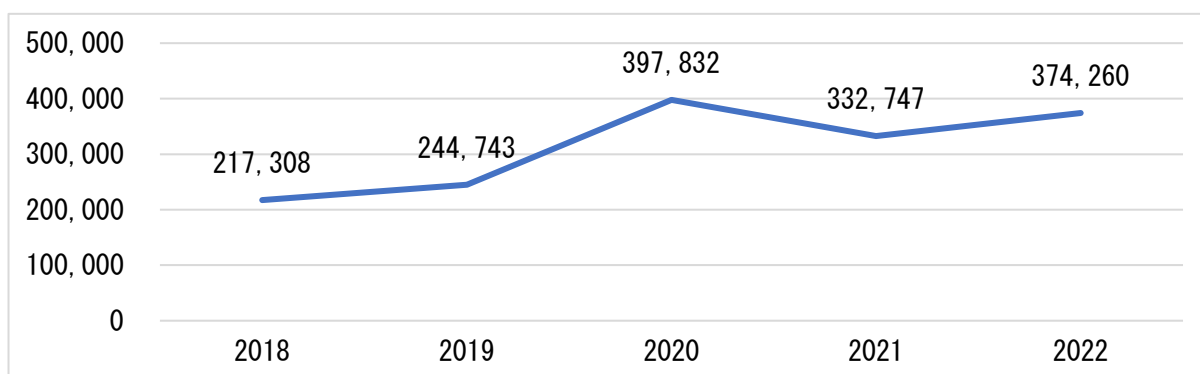
The World Bank，2022，“GNI per capita, Atlas method (current US\$)”，（Retrieved from January 10, 2024）

The World Factbook，2023，“Brazil”，（Retrieved from January 20, 2024，<https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/brazil/>）

表 21 米に関する基礎情報

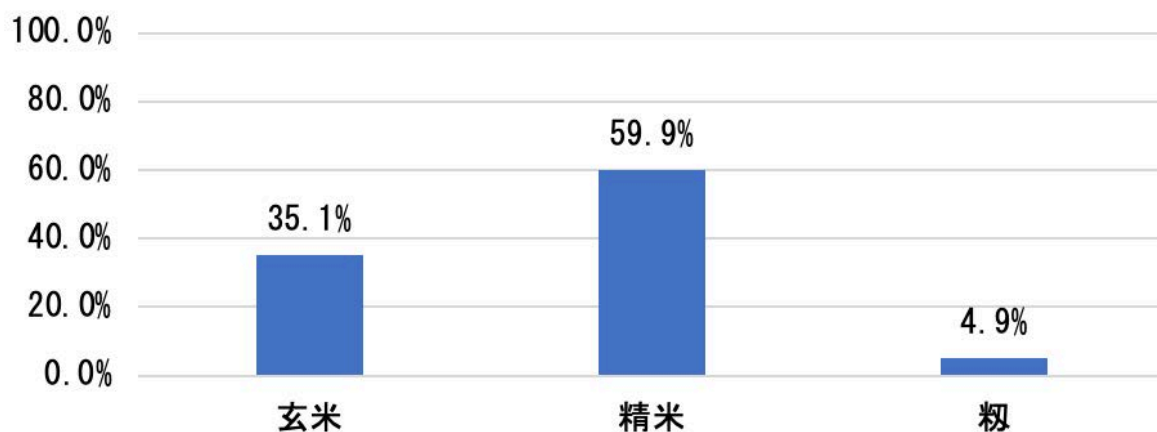
項目	内容
米消費	米消費量：7,891（千 t） 一人当たり米消費量：37.12kg/年
米輸出入	米輸出入（金額）： 輸出：506,716（千 USD）、輸入：368,279（千 USD） 輸出入バランス（輸出－輸入）：138,437（千 USD） 米輸出入（量）： 輸出：1,132,640t、輸入：795,730t 輸出入バランス（輸出－輸入）：336,910t 主要な米輸入元国： データなし

出典：米輸出入（金額）、（量）は FAOSTAT。米消費量は 2023 World Population Review



出典：FAOSTAT から作成。

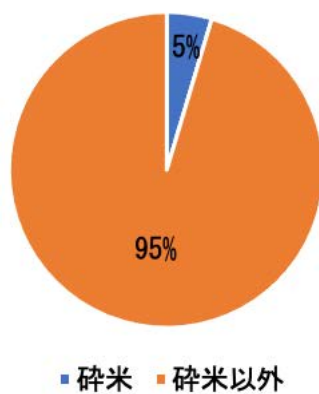
図 5 米輸入金額の推移



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粳の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 6 輸入米の種類(玄米・精米・粳)



出典：FAOSTAT から作成。

図 7 輸入米の種類(碎米・碎米以外)

表 22 ブラジルに関する輸出入手続きと必要書類概要

主要事項	
輸出入許可申請	ブラジルの輸出入手続きは、経済省貿易局の2011年省令により管理され、通関手続きは輸入と輸出それぞれに特定の細則が設けられている。改正は規則の簡素化を目指し、輸出入の手続きを効率化するための「単一輸出申告制度（DUE）」と「単一輸入申告制度（DUIMP）」が導入されている。これらの制度は商品登録やライセンス取得を事前に行い、業務の簡素化を図っている。
必要書類等	輸入時には、輸入者登録（RADAR）、商品コード（NCMコード）の確定、輸入ライセンス（必要な場合）、輸入申告書（DI）の登録、B/L上のNCMコードの記載が必要。また、輸入保険の手配、輸出者への船積み手配依頼、特定輸入規制の確認、必要なら関連機関へのライセンス申請が求められる。輸出時には、輸出者登録（RADAR）、商品コード（NCMコード）の確定、特別手配が必要な商品の確認、代金決済条件の決定、輸出登録書（RE）の申請が必要で、新しい単一輸出申告書（DUE）の使用が推奨されている。
査証	必要なし。
その他	インコタームズ2020のDDP（関税込持込渡し）は、ブラジルへの輸入に際して特に法的に禁止されているわけではないが、運用上の問題が存在するため、利用するには注意が必要。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (n.d.). ブラジルの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/cs\\_america/br/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/br/trade_05.html)

表 23 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市名	米ドル	現地通貨	備考
カンピーナス	6,300	34,309	都市名：サントス 最寄り港：サントス港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→サントス港
サンパウロ	6,300	34,309	都市名：サントス 最寄り港：サントス港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→サントス港
マナウス	11,400	62,083	都市名：マナウス 最寄り港：マナウス港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→マナウス港

リオデジャネイロ	6,800	37,032	都市名：リオデジャネイロ 最寄り港：リオデジャネイロ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→リオデジャネイロ港
----------	-------	--------	---

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022年度 中南米投資関連コスト比較調査 (2023年3月). JETRO. <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/a55602863753dd86.html>

表 24 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
ブラジル	インディカ、ジャポニカ	n. a.	フェイジョアーダ

出典：公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構. 「世界の米の生産量と米の種類」. (2024年1月20日取得, [https://www.komenet.jp/nandemobook/documents/\\_04-08w.pdf](https://www.komenet.jp/nandemobook/documents/_04-08w.pdf)).

### (3) ケニア

米輸入金額は上昇傾向であり、米輸出より輸入の方が多。

表 25 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	5,300万人
公用語	スワヒリ語、英語
宗教	伝統宗教、キリスト教、イスラム教など
GDP	1,103億USD
1人当たりGNI	2,080USD
経済成長率	7.5%
貧困線以下の人口	36.1%

出典：外務省, 2023, 「ケニア共和国 (Republic of Kenya) 基礎データ」, 外務省ホームページ, (2024年1月10日取得, <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/kenya/data.html>).

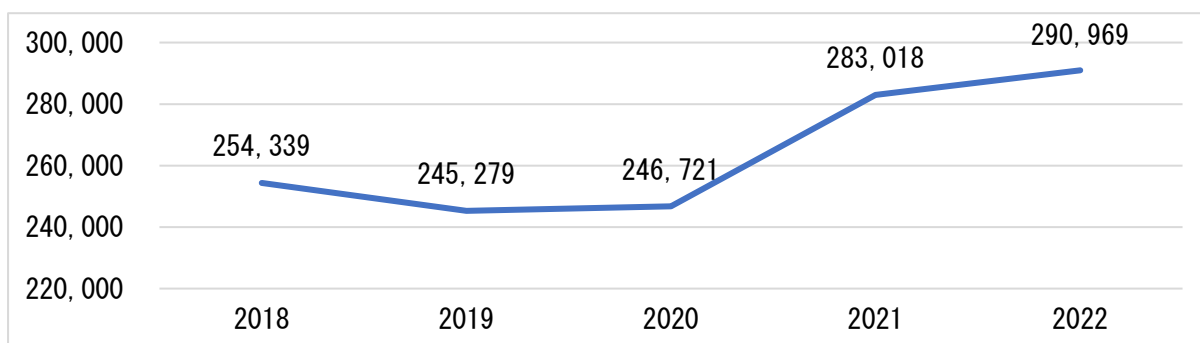
The World Factbook, 2023, "Kenya", (Retrieved from January 10, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/kenya/#people-and-society>).

表 26 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：1,162 (千t) 一人当たり米消費量：21.61kg/年
米輸出入	米輸出入 (金額)： 輸出：218 (千USD)、輸入：273,569 (千USD) 輸出入バランス (輸出－輸入)：-273,350 (千USD) 米輸出入 (量)： 輸出：338t、輸入：631,166t 輸出入バランス (輸出－輸入)：-630,828t

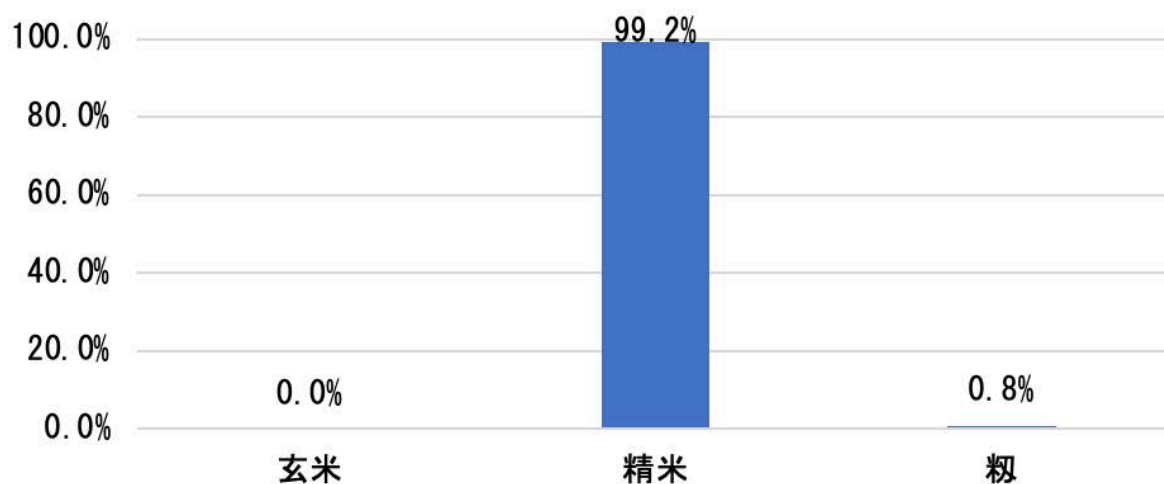
	<p>主要な米輸入元国：</p> <p>パキスタン：135（百万 USD）、タイ：77（百万 USD）</p> <p>中国：18（百万 USD）、インド：14（百万 USD）</p>
--	---

出典：World Integrated Trade Solution(WITS), 2018, “Kenya Rice imports by country in 2018”, (Retrieved from January 10, 2024, <https://wits.worldbank.org/trade/comtrade/en/country/KEN/year/2018/tradeflow/Imports/partner/ALL/product/1006>).



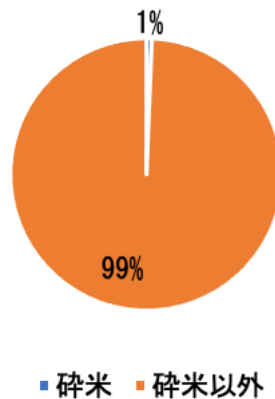
出典：外務省, 2023, 「ケニア共和国 (Republic of Kenya) 基礎データ」, 外務省ホームページ, (2024年1月10日取得, <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/kenya/data.html>).  
The World Factbook, 2023, “Kenya”, (Retrieved from January 10, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/kenya/#people-and-society>).

図 8 米輸入金額の推移



出典：FAOSTAT から作成。  
注釈：粃の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 9 輸入米の種類(玄米・精米・粃)



出典：FAOSTAT から作成。

図 10 輸入米の種類(碎米・碎米以外)

表 27 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市名	米ドル	現地通貨	備考
ナイロビ	9,047	1,098,125	出典:同上 工場名(都市名):ナイロビ 最寄り港:モンバサ港 対日輸入:横浜港→モンバサ港→ナイロビ

出典:Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022 年度 アフリカ投資関連コスト比較調査(2023 年 3 月). JETRO. <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/5b06b53d06c1132f.html>

表 28 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
ケニア	バスマティ米(インドイカ)	Sunrise Basmati, Fatma (Super Kernel Basmati Rice), Peal Basmati, CIL Pure Mwea Pishori Rice, Daawat Rice (with Blue Package), Falcon Biryani	ピラフ ビリヤニ

出典：一般財団法人 日本水土総合研究所 (JIID)。「ケニアの米事情」.(2024 年 3 月 7 日取得, <http://www.jiid.or.jp/ardec/ardec57/ard57-trend-jiid.html>)

#### (4) ウズベキスタン

米以外を主食とする中央アジア地域のため、やや一人当たり米消費量が少なく、米輸入金額も変動があるが、米輸出より輸入の方が多。

表 29 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	約 3,520 万人
公用語	国家語はウズベク語（ロシア語も広く使用）
宗教	主としてイスラム教スンニ派
GDP	803.9 億 USD
1 人当たり GNI	2,190USD
経済成長率	2.1%
貧困線以下の人口	14.1%

出典：外務省，2023，「ウズベキスタン共和国 (Republic of Uzbekistan) 基礎データ」，外務省ホームページ，(2024 年 1 月 10 日取得，<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mexico/data.html>)。  
 The World Bank, 2022, “GNI per capita, Atlas method (current US\$)”, (Retrieved from January 12, 2024, <https://data.worldbank.org/indicator/NY.GNP.PCAP.CD?locations=UZ&view=chart>)。  
 The World Factbook, 2023, “Uzbekistan”, (Retrieved from January 12, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/uzbekistan/#economy>)。

表 30 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：315（千 t） 一人当たり米消費量：9.43kg/年
米輸出入	米輸出入（金額）： 輸出：303（千 USD）、輸入：4,297（千 USD） 輸出入バランス（輸出－輸入）：-3,994（千 USD） 米輸出入（量）： 輸出：260t、輸入：16,870t 輸出入バランス（輸出－輸入）：-16,610t 主要な米輸入元国： パキスタン：135（百万 USD）、タイ：77（百万 USD） 中国：18（百万 USD）、インド：14（百万 USD）

出典：米輸出入（金額）、（量）はは FAOSTAT。米消費量は 2023 World Population Review。  
 The Observatory of Economic Complexity (OEC), 2021, “Rice in Mexico”, (Retrieved from January 10, 2024, <https://oec.world/en/profile/bilateral-product/rice/reporter/uzb>)



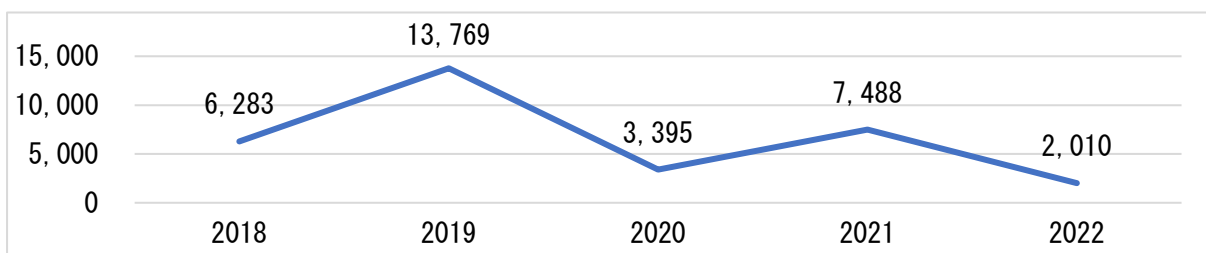
出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/gIEWS/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>

図 11 米の月間価格

表 31 小売市場における米の月間価格動向

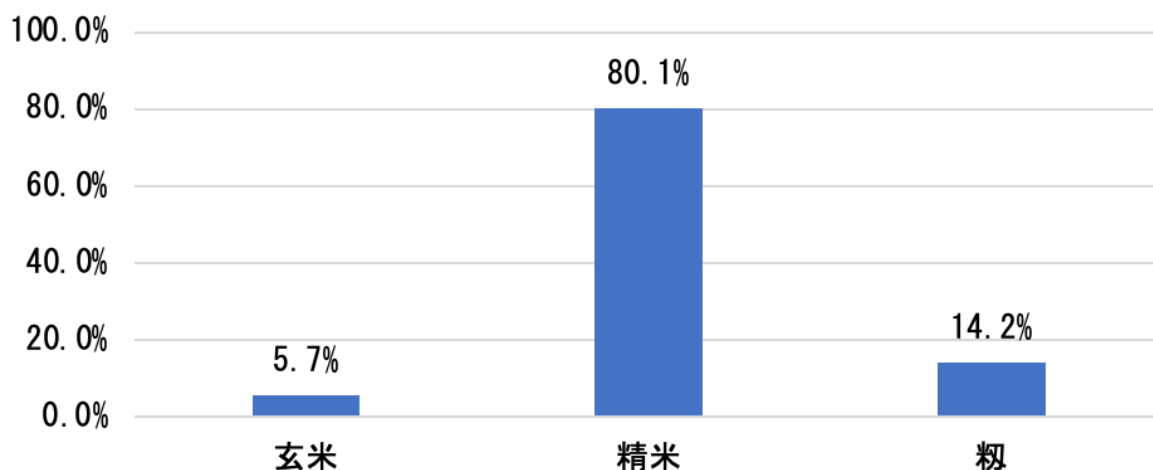
シリーズ	開始日	終了日	件数	変化率 (%)	平均価格	標準偏差	最低価格	最低価格の日付	最高価格	最高価格の日付	価格範囲
UZS/Kg	Jan-21	Dec-23	36	-2.21	5.14	0.31	4.61	Feb-22	6.02	Oct-23	1.41

出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/gIEWS/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>



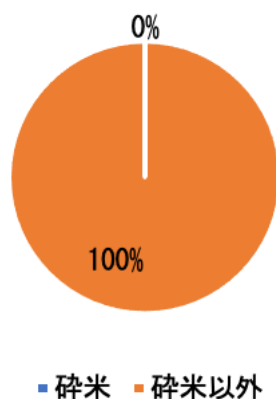
出典：FAOSTAT から作成。

図 12 米輸入金額の推移



出典：FAOSTAT から作成。  
 注釈：粃の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 13 輸入米の種類(玄米・精米・粃)



出典：FAOSTAT から作成。

図 14 輸入米の種類(碎米・碎米以外)

表 32 輸出入手続きと必要書類概要

主要事項	
輸出入許可申請	① 特定の物品の輸出入に関する許可は、大統領令または閣僚会議決定に基づいて発行され、特定の種類の物品については、閣僚会議から権限を付与された機関によって発行される。 ② 閣僚会議は特定の種類の物品の輸出入に関する割当を定めることができる。
必要書類等	輸出の必要書類は、税関申告書など。輸入の必要書類は、原産地証明書、貨物税関申告書など。
査証	輸入契約の締結には、領事手続きを行う必要はない。

その他	製品の違法な輸入、生産、販売を防止し、特定の製品の合法的な流通を確保し、消費者の権利を保護するために、2021年1月1日からウズベキスタンでは特定の製品へのデジタルマーキング制度が導入されている。タバコ製品、アルコール飲料（2021年1月1日以降）、ビール製品（2021年4月1日）、家電製品（2022年12月15日）、医薬品・医療品（2022年2月1日～9月30日）など。
-----	---

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). ウズベキスタンの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/russia\\_cis/uz/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/russia_cis/uz/trade_05.html)

表 33 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
ウズベキスタン	n. a.	n. a.	ピラフ プロフ

出典：ZOJIRUSHI, 「ワールドゴハンガイド」, ZOJIRUSHI ホームページ, (2024年3月7日取得, <https://www.zojirushi.co.jp/ricemile/gohan/world/uzbekistan.html>).

#### (5) カザフスタン

米以外を主食とする中央アジア地域のため、やや一人当たり米消費量が少ないが、米輸入金額は近年は、上昇傾向。

表 34 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	1,960万人
公用語	カザフ語、ロシア語
宗教	イスラム教（70.2%）、ロシア正教（26.3%）、仏教（0.1%）、無宗教（2.8%）、無回答（0.5%）
GDP	2,258億ドル
1人当たりGNI	9,620USD
経済成長率	3.2%
貧困線以下の人口	4.3%

出典：外務省, 2024, 「カザフスタン基礎データ」, 外務省ホームページ, (2024年2月1日取得, <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/kazakhstan/data.html>).

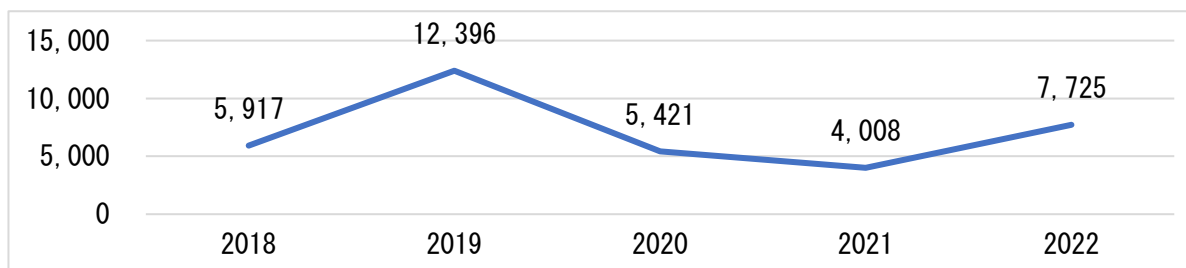
The World Factbook, 2024, "Kazakhstan", (Retrieved from February 1, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/kazakhstan/>).

表 35 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：192（千トン） 一人当たり米消費量：10.23（kg/年）
米輸出入	米輸出入（金額）： 輸出：39,690（千USD）、輸入：5,718（千USD） 輸出入バランス（輸出－輸入）：33,972（千USD）

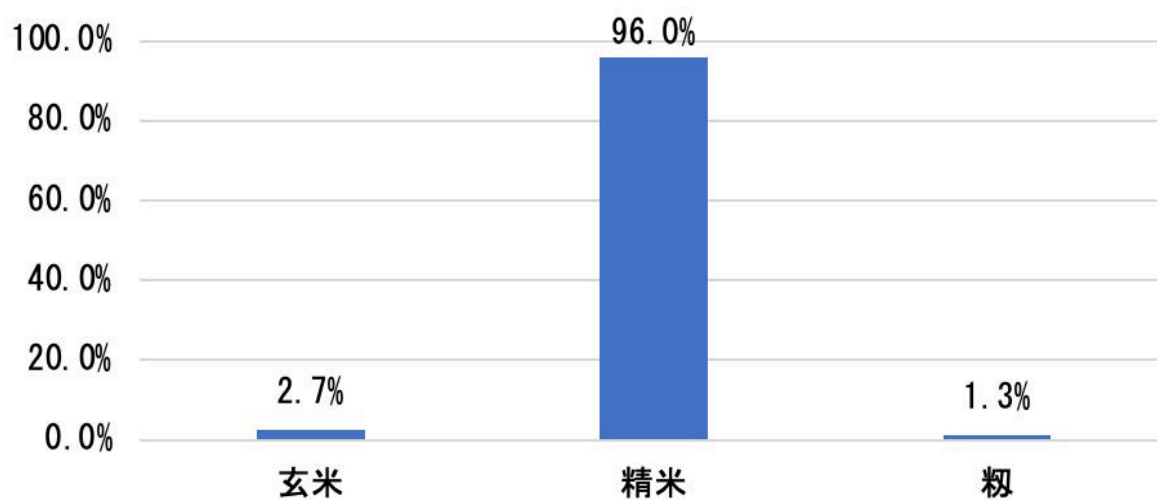
	<p>米輸出入（量）：</p> <p>輸出：110,841t、輸入：8,435t</p> <p>輸出入バランス（輸出－輸入）：102,406t</p> <p>主要な米輸入元国：</p> <p>パキスタン（127百万USD）、ロシア（3.52百万USD）、インド（144千USD）、キルギス（53.3千USD）、イタリア（24.5千USD）</p>
--	---

出典：米輸出入（金額）、（量）はFAOSTAT。米消費量は2023 World Population Review。  
The Observatory of Economic Complexity (OEC), 2021, "Rice in Kazakhstan", (Retrieved from February 1, 2024, <https://oec.world/en/profile/bilateral-product/rice/reporter/kaz>).



出典：FAOSTAT から作成。

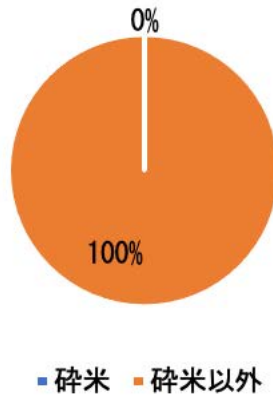
図 15 米輸入金額の推移(千 USD)



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粳の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 16 輸入米の種類(玄米・精米・粳)



出典：FAOSTAT から作成。

図 17 輸入米の種類(碎米・碎米以外)

## (6) ペルー

米消費量が大きく、米輸入金額が高い、米輸出より輸入の方が多い。

表 36 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	約 3,297 万人
公用語	スペイン語（他にケチュア語、アイマラ語等）
宗教	カトリック(81%)、プロテスタント(13%)、その他(6%)
GDP	2,020 億ドル
1人当たり GNI	6,740USD
経済成長率	-11.1%
貧困線以下の人口	20.2%

出典：外務省，2023，「ペルー 基礎データ」，外務省ホームページ，（2024 年 1 月 20 日取得，<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/peru/data.html>）。

The World Bank, 2022, “GNI per capita, Atlas method (current US\$)”, (Retrieved from January 10, 2024).

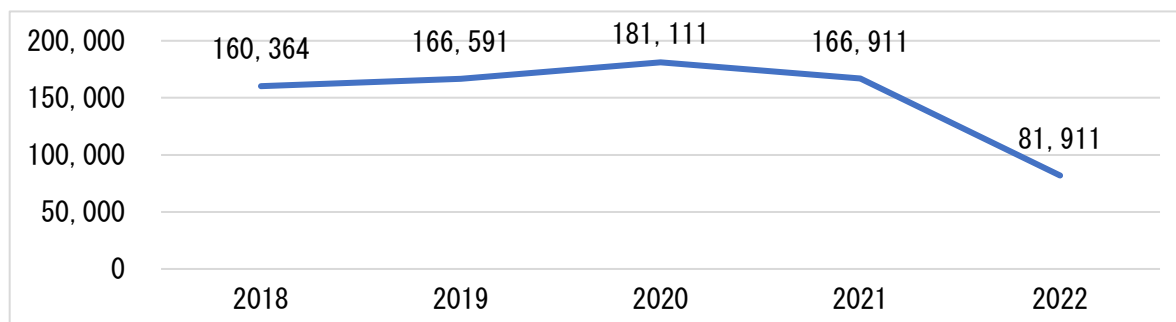
The World Factbook, 2023, “Peru”, (Retrieved from January 20, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/peru/>)

表 37 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：2,497（千 t） 一人当たり米消費量：75.73kg/年
米輸出入	米輸出入（金額）： 輸出：14,787（千 USD）、輸入：143,311（千 USD） 輸出入バランス（輸出－輸入）：-128,523（千 USD） 米輸出入（量）： 輸出：22,140t、輸入：222,977t

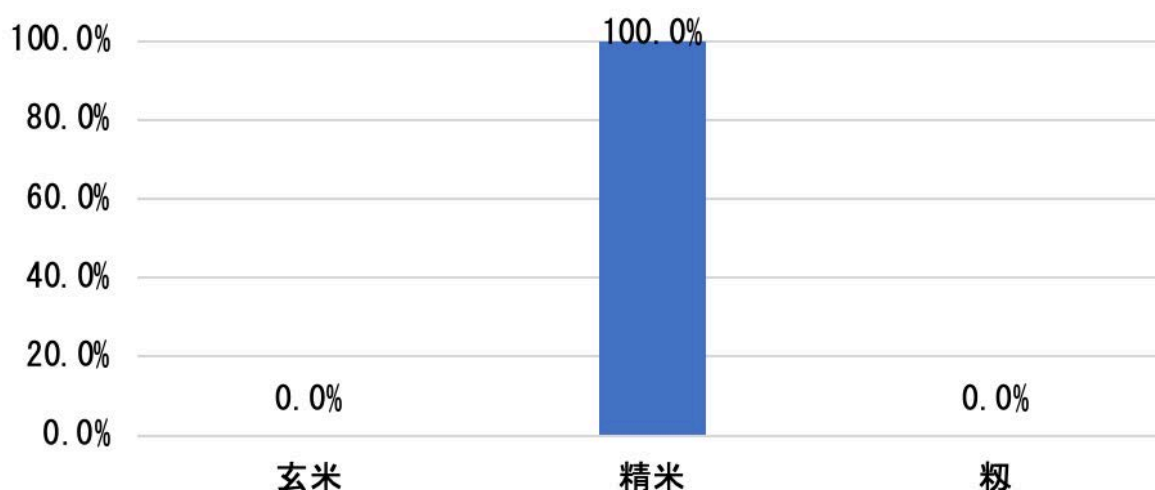
	<p>輸出入バランス（輸出－輸入）：-200,836t</p> <p>主要な米輸入元国：</p> <p>データなし</p>
--	---

出典：米輸出入（金額）、（量）はFAOSTAT。米消費量は2023 World Population Review



出典：FAOSTAT から作成。

図 18 米輸入金額の推移(千 USD)



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粳の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 19 輸入米の種類(玄米・精米・粳)

表 38 輸出入手続きと必要書類概要

主要事項	
輸出入許可申請	貿易統一窓口システム (VUCE) を通じて、23機関が所管する357の輸出入手続きをオンラインで行うことができる。サービスを利用するには税務監督庁 (SUNAT) を通じて納税者番号 (RUC) と納税サービスパスワード (Clave Sol) を取得の上、VUCEのサイトにアクセスする。また、専用アプリ「VUCE Perú」を利用して、スマートフォンで手続きの管理や状況確認をすることも可能。
必要書類等	輸入時には税関貨物申告書 (DAM)、船荷証券または航空貨物運送状、インボイスと梱包明細書、保険証券、原産地証明などが必要。農牧畜産品

	は衛生許可や検疫が、加工食品や飲料は自由販売証明書と衛生登録が求められる。輸出時も同様に税関貨物申告書（DAM）、船荷証券、インボイス、梱包明細書が必要で、FOB 価格が 5,000 ドル未満の場合は簡易通関制度が利用可能。特定の規制品目には追加書類が必要。手続きには、貿易統一窓口システム（VUCE）を利用する。
査証	不要。
その他	ラベリング法により工業製品に製品名や製造国などの表示が義務付けられており、不適切な表示の輸入品は販売が認められない。健康食品促進法では、特定栄養素を多く含む加工食品に警告ラベルの貼付が必須。サービス輸出・観光促進法では、一定条件下でサービス輸出が税免除され、外国人旅行者向けの税還付スキームが提供されている。これらの施策は、公平な競争と消費者保護を目的としている。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). ペルーの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/cs\\_america/pe/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/pe/trade_05.html)

表 39 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市名	米ドル	現地通貨	備考
リマ	4,000	15,320	都市名：リマ 最寄り港：カヤオ港 積み出し港：横浜港  対日輸入：横浜港→カヤオ港  陸上輸送費（1,300 ドル）含まず。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022 年度 中南米投資関連コスト比較調査 (2023 年 3 月). JETRO. <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/a55602863753dd86.html>

表 40 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
ペルー	n. a.	アロス・ネバト	パエリヤ ピラフ アロース・コン・マリス コス

出典：ペルー観光 案内サイト. (2020). ペルー料理. (2024 年 3 月 7 日取得 <http://peru-travel.club/peru-rice-cooking-recipe/>)

## (7) 南アフリカ

米輸入金額は安定しており、米輸出より輸入の方が多い。

表 41 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	6,004 万人
公用語	英語、アフリカンス語、バンツール諸語（ズールー語、ソト語ほか）の 11 言語
宗教	キリスト教（人口の約 80%）など
GDP	4,199 億 USD
1 人当たり GNI	2,620USD
経済成長率	4.9%
貧困線以下の人口	55.5%

出典：外務省，2023，「南アフリカ共和国 (Republic of South Africa) 基礎データ」，外務省ホームページ，(2024 年 1 月 10 日取得，[https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/s\\_africa/data.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/s_africa/data.html))。  
The World Factbook, 2023, "South Africa", (Retrieved from January 10, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/south-africa/>).

表 42 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：1,198 (千 t) 一人当たり米消費量：20.2kg/年
米輸出入	米輸出入 (金額)： 輸出：82,646 (千 USD)、輸入：509,919 (千 USD) 輸出入バランス (輸出－輸入)：-427,273 (千 USD) 米輸出入 (量)： 輸出：128,602t、輸入：1,024,077t 輸出入バランス (輸出－輸入)：-895,474t 主要な米輸入元国： タイ：348 (百万 USD)、インド：132 (百万 USD) アラブ首長国連邦：8.3 (百万 USD)、香港：6.9 (百万 USD)

出典：World Integrated Trade Solution(WITS), 2018, "South Africa Rice imports by country in 2018", (Retrieved from January 10, 2024, <https://wits.worldbank.org/trade/comtrade/en/country/ZAF/year/2018/tradeflow/Imports/partner/ALL/product/1006>).



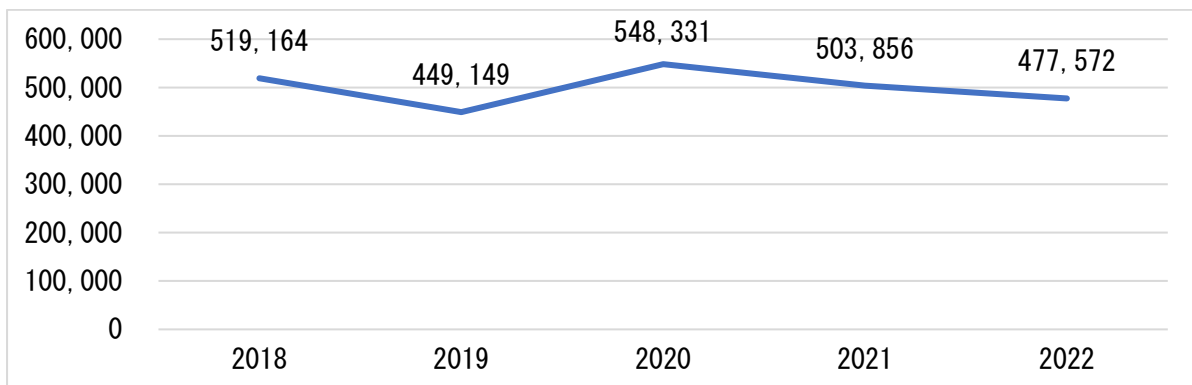
出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/giews/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>

図 20 米の月間価格

表 43 小売市場における米の月間価格動向

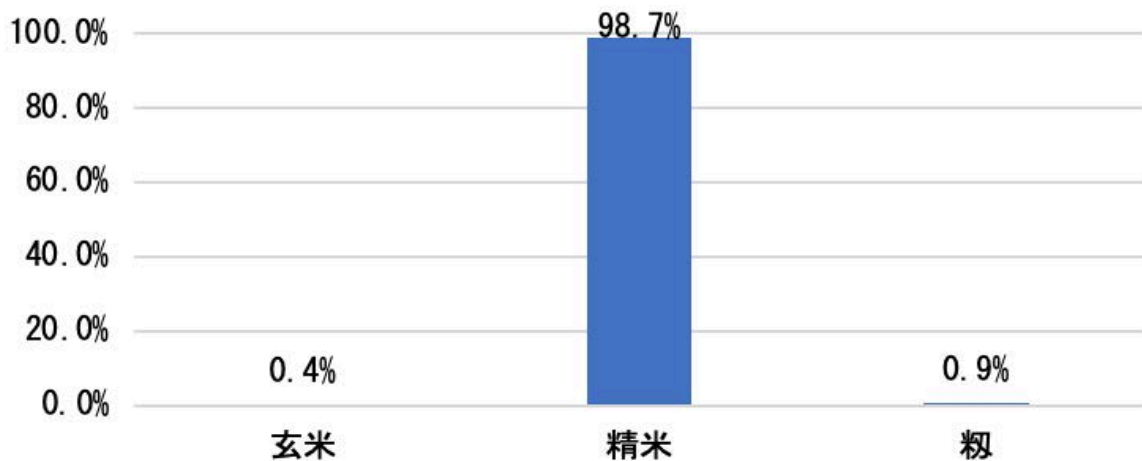
シリーズ	開始日	終了日	件数	変化率 (%)	平均価格	標準偏差	最低価格	最低価格の日付	最高価格	最高価格の日付	価格範囲
ZAR/Kg	Jan-21	Dec-23	36	-2.21	5.14	0.31	4.61	Feb-22	6.02	Oct-23	1.41

出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/giews/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>



出典：FAOSTAT から作成。

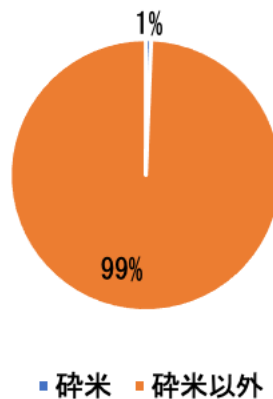
図 21 米輸入金額の推移（千 USD）



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粃の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 22 輸入米の種類（玄米・精米・粃）



出典：FAOSTAT から作成。

図 23 輸入米の種類（碎米・碎米以外）

表 44 輸出入手続きと必要書類概要

主要事項	
輸出入許可申請	輸出入業務を行うすべての業者は、南アフリカ歳入庁（SARS）への登録が必要。輸出入許可が求められる製品の場合、貿易産業競争省（DTIC）や関連省へ事前に許可申請をする必要。また、プラグ付き電化製品を輸入・販売する際は、南ア国家強制基準監督局（NRCS）から承諾書（LOA）の取得が必須。
必要書類等	全ての通関手続きがオンラインで行われ、SARS は手続きの簡素化のために SAD500、SAD502、SAD505 の 3 種類の多目的税関申告書が使用されている。必要な書類には船荷証券（BL）または航空運送状（AWB）、原産地証明申告書（DA59）、商用インボイス、パッキングリストが含まれる。特定の製品には規制対象品目の輸入許可証が必要で、これは貿易産業競争省輸出入管理局長によって発行され、許可がない場合は処罰の対象と

	なる。
査証	必要なし。
その他	運営上、輸入申告の課税標準は FOB。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). 南アフリカの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/africa/za/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/africa/za/trade_05.html)

表 45 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市名	米ドル	現地通貨	備考
ヨハネスブルク	5,800	106,198	工場名(都市名):ヨハネスブルク 最寄り港:ダーバン港 積み出し港:横浜港 対日輸入:横浜港→ダーバン港 陸上輸送費を含まない。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022 年度 アフリカ投資関連コスト比較調査 (2023 年 3 月). JETRO. <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/5b06b53d06c1132f.html>

表 46 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
南アフリカ	インディカ アロマティック ジャポニカ もち米	n. a.	ピラフ ビリヤニ

Selina Wamucii. (n. d.). South Africa rice. (2024 年 3 月 7 日 取得 <https://www.selinawamucii.com/produce/cereals/south-africa-rice/>)

## (8) コートジボワール

飼料用米などの用途で比較的価格の安い碎米の輸入割合が 22%とやや高いが、碎米以外の輸入需要も十分高く、米輸入金額も安定している。

表 47 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	2,816 万人
公用語	フランス語
宗教	イスラム教 (約 43%)、キリスト教 (約 40%) など
GDP	700.2 億 USD
1 人当たり GNI	2,620USD
経済成長率	6.7%
貧困線以下の人口	39.5%

出典：外務省, 2023, 「コートジボワール基礎データ」, 外務省ホームページ, (2024 年 1 月 10 日取得, [https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/cote\\_d/data.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/cote_d/data.html)) .

The World Factbook, 2023, “Cote d’Ivoire”, (Retrieved from January 10, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/cote-divoire/#economy>).

表 48 米に関する基礎情報

項目	内容
米消費	米消費量：データなし 一人当たり米消費量：データなし
米輸出入	米輸出入（金額）： 米消費量：データなし 一人当たり米消費量：データなし 米輸出入（量）： 輸出：29,362t、輸入：1,370,218t 輸出入バランス（輸出－輸入）：-1,340,855t 主要な米輸入元国： インド：319（百万 USD）、ベトナム：218（百万 USD） タイ：92（百万 USD）、中国：49.9（百万 USD） パキスタン：32.8（百万 USD）

出典：The Observatory of Economic Complexity (OEC), 2021, “Rice in Cote d’Ivoire”, (Retrieved from January 10, 2024, <https://oec.world/en/profile/bilateral-product/rice/reporter/civ>).



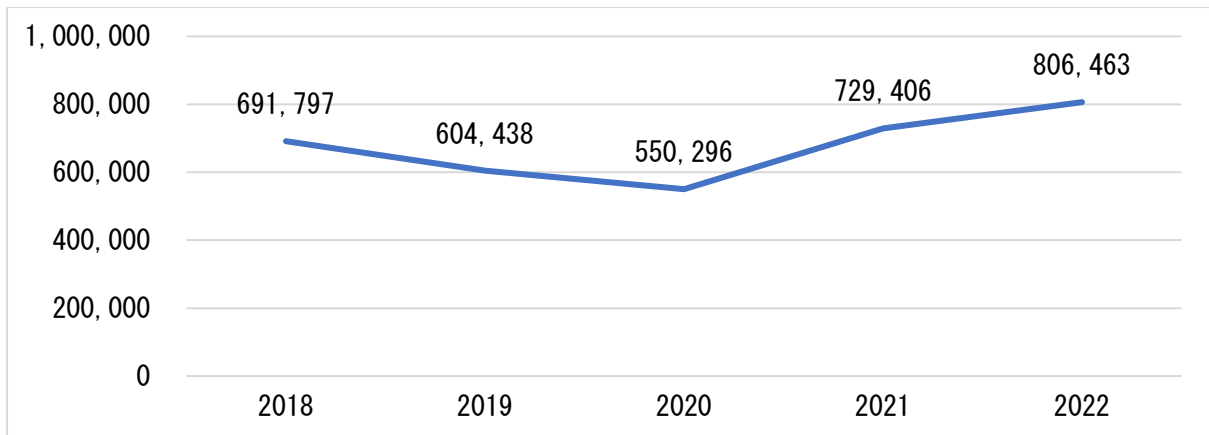
出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/giews/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>

図 24 米の月間価格

表 49 小売市場における米の月間価格動向

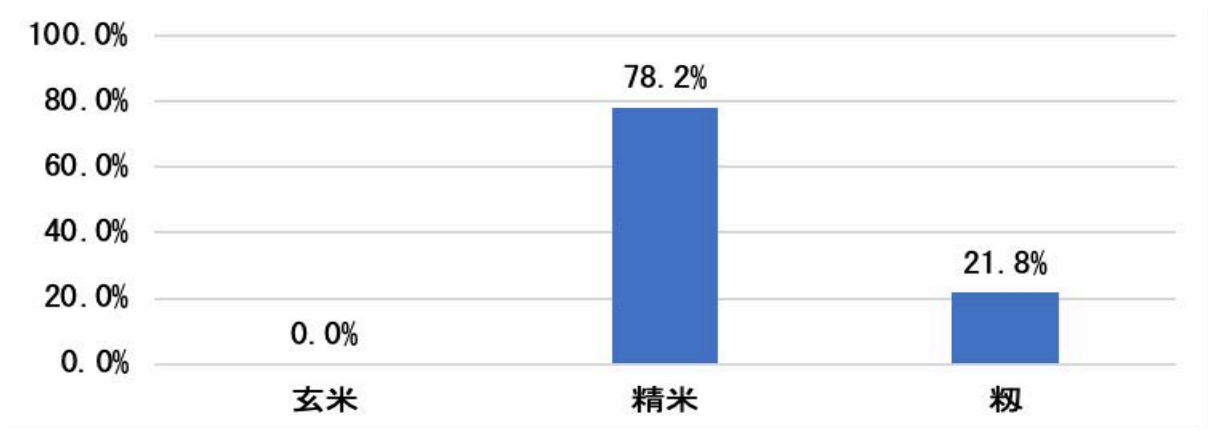
シリーズ	開始日	終了日	件数	変化率 (%)	平均価格	標準偏差	最低価格	最低価格の日付	最高価格	最高価格の日付	価格範囲
XOF/Kg	Jan-21	Dec-23	36	-2.21	5.14	0.31	4.61	Feb-22	6.02	Oct-23	1.41

出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). FPMA Tool. Retrieved from <https://fpma.fao.org/giews/fpmat4/#/dashboard/tool/domestic>



出典：FAOSTAT から作成。

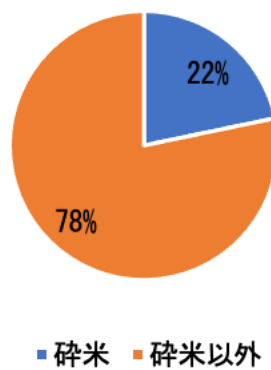
図 25 米輸入金額の推移（千 USD）



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粳の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 26 輸入米の種類（玄米・精米・粳）



出典：FAOSTAT から作成。

図 27 輸入米の種類（碎米・碎米以外）

表 50 輸出入手続きと必要書類概要

主要事項	
輸出入許可申請	所定の書式にて、貿易総局に輸入ライセンスまたは輸入申告書（FDI）の申請を行う。
必要書類等	輸出貨物には、インボイス、船荷証券、保険証券、パッキングリスト、原産地証明書などが必要。また、2019年7月から貿易シングルウィンドウ・コートジボワール（GUCE-CI）が貿易ワンストップシステムを管理・運用し、税関業務は税関総局に移管された。輸入商品の適合性認証検査（VOC）は、FOB 価格 100 万 CFA フラン以上の貨物が対象であり、指定された検査機関から適合証明書（CoC）を取得する必要がある。カーゴトラッキングノート（BSC）の発行も義務付けられている。
査証	原則、必要なし。現地輸入業者から要求があった場合のみ必要。書類は、すべてフランス語で記載。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). コートジボワールの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/africa/ci/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/africa/ci/trade_05.html)

表 51 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市名	米ドル	現地通貨	備考
アビジャン	6,693	4,426,800	工場名（都市名）：ヨブゴン工業団地（アビジャン） 最寄り港：アビジャン港 積み出し港：横浜港 対日輸入：横浜港→アビジャン港→ヨブゴン工業団地 アビジャン港からヨブゴン工業団地への陸上輸送費を含む。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022 年度 アフリカ投資関連コスト比較調査 (2023 年 3 月). JETRO. <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/5b06b53d06c1132f.html>

表 52 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
コートジボワール	アジア種のオリザ・サティバとアフリカ種のオリザ・グラベリマを交配して開発されたもの	NERICA	ジョロフライス

出典：Africa Rice Center. (n.d.). NERICA. (2024 年 3 月 7 日取得 <https://www.africarice.org/nerica>).

## (9) エジプト

米輸入金額は、近年は安定しており、米消費量、一人当たり米消費量ともに高い。米輸出より輸入の方が多い。

表 53 基礎的な社会経済状況

項目	内容
人口	1 億 926 万人
公用語	アラビア語、都市部では英語も通用
宗教	イスラム教、キリスト教（コプト派）
GDP	4,041 億米ドル
1 人当たり GNI	4,100USD
経済成長率	3.3%
貧困線以下の人口	32.5%

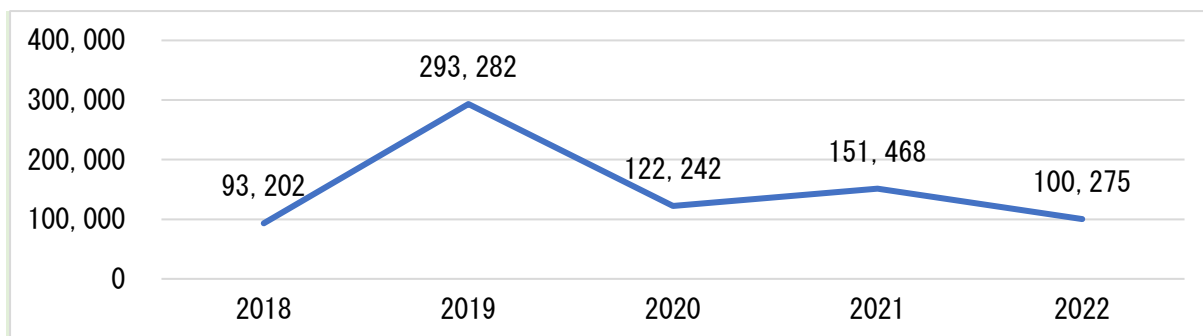
出典：外務省，2023，「エジプト基礎データ」，外務省ホームページ，（2024 年 2 月 1 日取得，<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/egypt/data.html>）。

The World Factbook, 2023, "Egypt", (Retrieved from February 1, 2024, <https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/egypt/>).

表 54 米に関する基礎情報

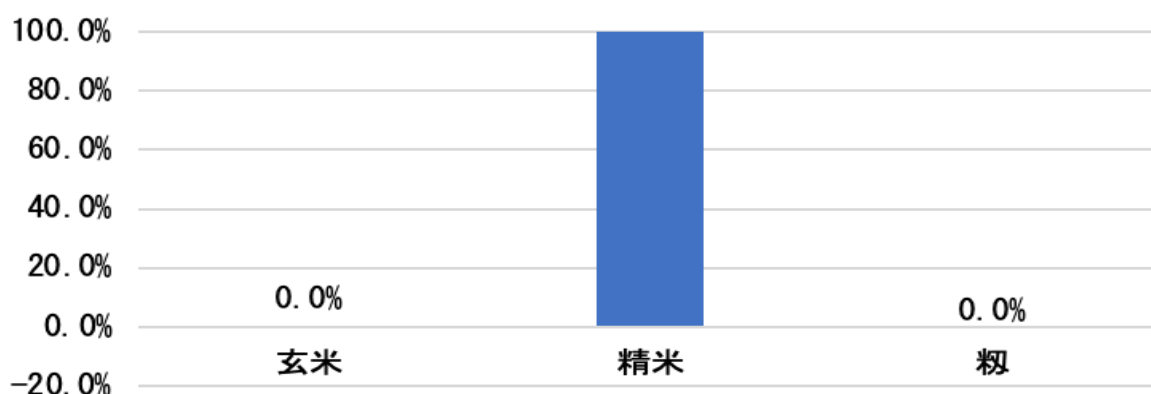
項目	内容
米消費	米消費量：4,929（千トン） 一人当たり米消費量：48.16（kg/年）
米輸出入	米輸出入（金額）： 輸出：18,071（千 USD）、輸入：124,661（千 USD） 輸出入バランス（輸出－輸入）：-106,590（千 USD） 米輸出入（量）： 輸出：35,779t、輸入：282,482t 輸出入バランス（輸出－輸入）：-246,703t 主要な米輸入元国： 中国（80.1 百万 USD）、インド（48.3 百万 USD）、タイ（3.08 百万 USD）、トルコ（2.53 百万 USD）、パキスタン（\$548 千 USD）。

出典：米輸出入（金額）、（量）は FAOSTAT。米消費量は 2023 World Population Review。  
The Observatory of Economic Complexity (OEC), 2021, "Rice in Egypt", (Retrieved from February 1, 2024, <https://oec.world/en/profile/bilateral-product/rice/reporter/egy>).



出典：FAOSTAT から作成。

図 28 米輸入金額の推移（千 USD）



出典：FAOSTAT から作成。

注釈：粳の輸入割合は玄米と精米の割合を全体輸入量から引いて算出した。

図 29 輸入米の種類（玄米・精米・粳）

表 55 輸出入手続きと必要書類概要

主要事項	
輸出入許可申請	輸出入許可申請は不要だが、商業輸入・輸出には事前の登録が必須。特定品目は品質検査と詳細ラベリングが求められ、輸出入管理公団の承認が必要。2021年10月から輸入貨物情報の事前申告制度（ACI）が導入され、「Nafeza」での申告が義務化されており、輸出者は「CargoX」で貨物情報を申告する。ACIは航空貨物にも適用され、運用ルールは現地確認が必要。
必要書類等	原産地証明書は一般的に担当機関からの発行が必要だが、中古品、保健・人口省や農業・土地造成省が認めた品目、メーカーが原産国を明記したインボイスがある場合は提出免除される。通関には船荷証券、インボイス、パッキングリスト、原産地証明書（免除品を除く）が必要。
査証	領事査証が必要な場合がある。輸出する際、特に中東アフリカ地域向けには、輸出国の大使館や領事館でインボイスと原産地証明書の領事査証が必要な場合がある。しかし、エジプトを含む一部の国では、実際には査証なしでも通関が可能なケースや、2021年に導入された通関事前申告制度（ACI）により査証が不要になるケースもある。そのため、具体的な必要性

	については都度、現地の輸入者に確認することが推奨される。
その他	外国の工場や企業が特定の食品、家電、生活雑貨など25分類の品目を輸出する際に、エジプト輸出入管理公団への事前登録を2016年43号省令で義務付けた。さらに、食品輸入者は国家食品安全庁からの許可が必要とされる。2022年の省令改正で登録手続きが簡略化され、外国貿易関連大臣の認可は不要となった。また、特定品目には船積み前検査証明書が求められる。

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). エジプトの貿易統計データ. JETRO. [https://www.jetro.go.jp/world/africa/eg/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/africa/eg/trade_05.html)

表 56 コンテナ輸送(40ft コンテナ)対日輸入

都市部	米ドル	現地通貨	備考
カイロ	n. a.	n. a.	

出典：Japan External Trade Organization (JETRO). (2023). 2022 年度 アフリカ投資関連コスト比較調査 (2023 年 3 月). JETRO. <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2023/01/5b06b53d06c1132f.html>

表 57 各国の米の種類と主な米料理

国	米の種類	主要な品種	主な米料理
エジプト	ジャポニカ (GIZA 171、GIZA 172、GIZA 175、GIZA 176、GIZA 177、GIZA 178、GIZA 181、IR 28、SAKHA 101、SAKHA 102)	n. a.	Koshari, Mahshi

出典：Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). Rice is life. (2024 年 3 月 7 日取得 <https://www.fao.org/3/y4347e/y4347e0o.htm>).

### 2.3.3 現地調査

#### (1) ケニア

##### 【ケニアへの米輸入手続き】

輸入手続きは、ケニア政府が定める船積み前適合検査（Pre-Shipment Verification of Conformity : PVoC）に基づいて行われる。PVoC とは、ケニア向けに輸出する製品がケニアの規格に適合しているかどうかを事前に仕出し港（輸出国）で検証する手続きで、ケニア基準局（KEBS）が所管している<sup>1</sup>。

日本を含めて各国にはケニア基準局が認定した検査機関があり（2024年2月現在日本における検査期間はSGS ジャパン）、ケニアの規格に適合していれば、適合証明書（Certificate of Conformity : CoC）が発行される。仕出し港（輸出国）において、船積み前適合検査を実施せずに船積みした貨物については、ペナルティ費として当該貨物のCIF価格の5%と検査費、さらに保証金としてCIF価格の5%をケニア基準局（KEBS）に支払うことで、輸出先（ケニア）において適合検査を申請することができる。

ケニア基準局（KEBS）とは別に、植物、種子、穀物などの植物防疫を管轄するケニア植物衛生検査局（KEPHIS）に関連書類を提出するよう要求される可能性がある。事前に包装された商品を持参して、相談することで輸入時の混乱を回避できる。

##### 【ケニアにおける主食・米消費方法】

ケニアの代表的な主食は、白トウモロコシやキャッサバの粉を湯がいて練ったものである。チャパティ、ジャガイモ、米も食べることもある。コメの消費は、特に若い世代や都市部の居住者は、炊飯の簡便さや、冷蔵保存のしやすさから、急速に伸びており、年10~12%程度の増加率である<sup>2</sup>。



出典 : Africa Quest

図 30 ウガリ（トウモロコシ）



出典 : Africa Quest

図 31 ピラウ（ピラフ）

<sup>1</sup> JETRO ケニア輸出手続き [https://www.jetro.go.jp/world/africa/ke/trade\\_05.html](https://www.jetro.go.jp/world/africa/ke/trade_05.html)

<sup>2</sup> The Value Chain of Locally Grown Japonica Rice in Mwea, Kenya (2021)



図 32 チャパティ（小麦）



図 33 ギセリ  
（豆のシチューにジャガイモなどを混ぜたもの）

### 【ケニアにおける米輸入】

上述の通り、ケニアでは、米を輸入に大きく依存しており、精米（非破碎米）で輸入している。輸入先は（表 58）の通り、金額ベース・重量ベースにおいてパキスタン、タイからの輸入が 8 割程度を占めている。日本からも輸入をしているが、金額ベース・重量ベース双方において約 0.2% 程度にとどまる。

表 58 ケニアにおける米輸入先国（金額ベース、重量ベースおよび全体に占める割合）

輸入国	輸入金額		輸入量	
	[1,000USD]		[ton]	
パキスタン	135,291	53.55%	347,526.00	57.98%
タイ	76,880	30.43%	175,298.00	29.25%
中国	18,450	7.30%	27,017.80	4.51%
インド	13,767	5.45%	30,683.40	5.12%
韓国	6,108	2.42%	13,000.50	2.17%
タンザニア	1,204	0.48%	3,180.75	0.53%
日本	471	0.19%	1,272.96	0.21%
エジプト、アラブ共和国	182	0.07%	468.00	0.08%
香港、中国	103	0.04%	260.00	0.04%
カンボジア	57	0.02%	125.00	0.02%
エチオピア(エリトリアを除く)	37	0.01%	405.60	0.07%
イタリア	30	0.01%	16.82	0.00%
ベトナム	20	0.01%	52.00	0.01%

出典：World Integrated Trade Solution (2018)

【ケニアにおける米バリューチェーンのコスト構造試算】

ケニアにおける米の小売価格のコスト構造を試算した（図 34）。FOB 価格（Free on Board：本船渡し＝輸出国港で引き渡す際の価格、生産費含む）、輸送費（約 5%）、保険料・関税（約 8%）、輸入業者・卸売業者小売業者のマージン（各約 15～40%）

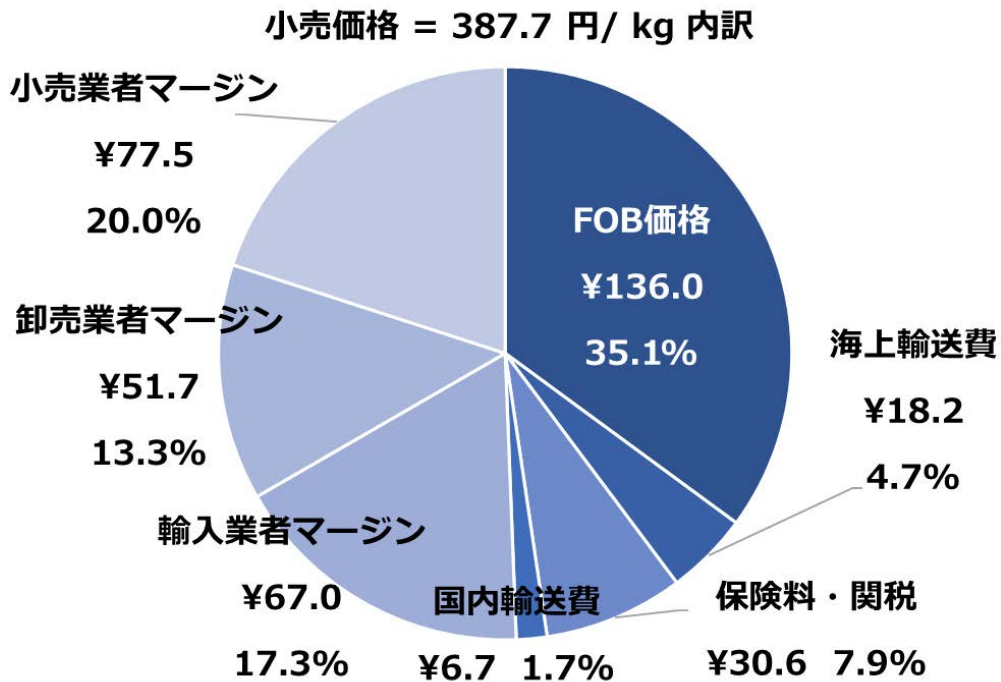


図 34 ケニアにおける米のコスト構造

【ケニアにおける米小売り調査】

中間層向けスーパーでの米の小売価格は 160~314 円/kg ほどであり、主に長粒米が売られている（表 59）。インド、パキスタンからの輸入品のみ取り扱いであり、タイ米などはより価格が低い市場で取り扱われているようである。

表 59 ケニアでの米の小売価格（税抜き）

輸入国	銘柄	円/kg
インド	RANEE / LONG GRAIN	159.5
	SUNRICE / BASMATI	308.6
	AMANA / BASMATI	314.7
パキスタン	DAAWAT / LONG GRAIN	155.2
	AROMATIC 224	194.0
	DAAWAT / BASMATI	300.9



図 35 インド産米（長粒種）159.5 円/kg



図 36 インド産米（バスマティ）308.6 円/kg



図 37 インド産米（バスマティ）314.7 円/kg



図 38 パキスタン産米（長粒種）155.2 円/kg



図 39 パキスタン産米（香り米）194.0 円/kg



図 40 パキスタン産米（バスマティ）300.9 円/kg

【米消費に関するアンケート結果】

所得層別に米消費に関するアンケートを行った。メキシコの主食はウガリであるが、米も週に3日分程度食べていることが分かった（表 60、表 61）。高所得層の消費者は、比較的単価の高い米を消費していることが分かった。

表 60 アンケート結果によるケニアでの米消費 月収 10 万円以上 (n=10)

	最小値	最大値	平均値	中央値
週に米を食べる頻度（日/週）	1	5	3.30	3.00
月に米を購入する量（kg 一人当たり）	0.75	2.50	1.89	2.00
月に米を購入する金額（円 一人当たり）	142.50	850.00	578.06	625.00

表 61 アンケート結果によるケニアでの米消費 月収 10 万円以下 (n=10)

	最小値	最大値	平均値	中央値
週に米を食べる頻度 (食/週)	2.00	2.50	3.70	3.00
月に米を購入する量 (kg 一人当たり)	0.80	5.00	2.30	2.25
月に米を購入する金額 (円 一人当たり)	160.00	1,300.00	514.58	381.25

米を購入する際の 1 番の決め手は「味」であった。次に「価格」が続く。生産地については、高所得層の消費者の方が気にしているようである。これらの結果から、味の良い米を低価格で提供することができれば、他の輸入米に対し競争力を持つことができる。

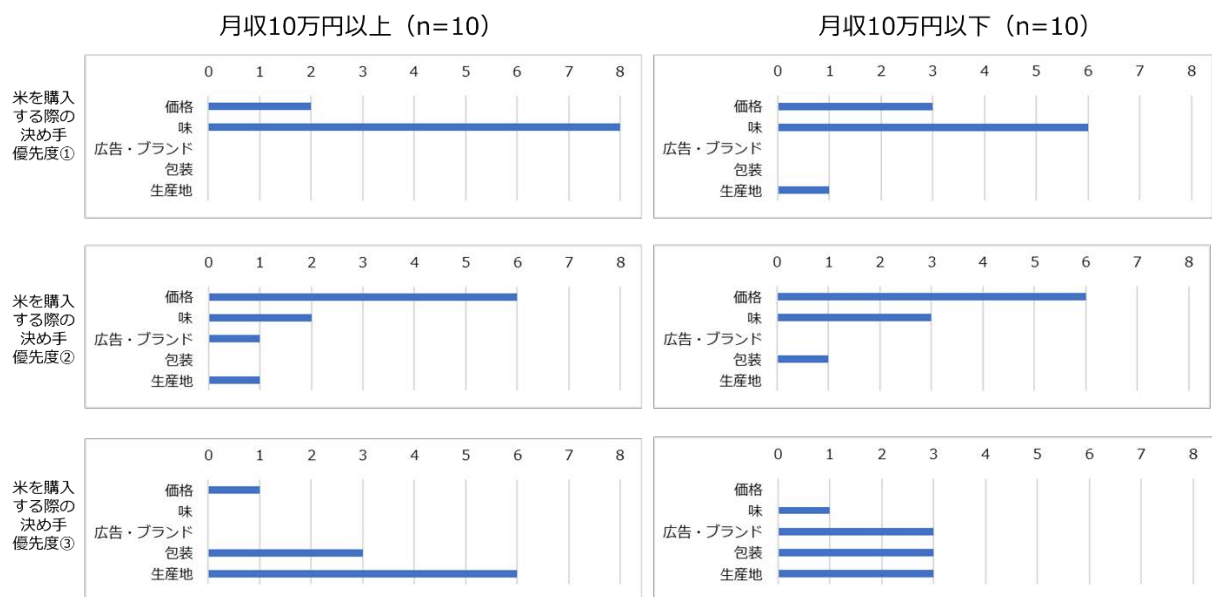


図 41 米を購入する際の決め手。横軸は人数

## (2) メキシコ

### 【メキシコへの米輸入手続き】

現在メキシコへの米輸入に関して、植物検疫以外は特に規制は行われていない。日本側で必要な手続きはすべて SENASICA (メキシコ食品衛生安全品質管理局: Servicio Nacional de Sanidad, Inocuidad y Calidad Agroalimentaria) の HP (GOB.MX - SENASICA) に記載されている。この手続きを通過しない限り輸出することはできない。また、SENASICA の HP に記載のない品目は、その段階でメキシコへの輸入が許可されていないものであり、その費目を輸入する場合は政府間の交渉が必要である。2024 年 3 月 22 日現在で日本からメキシコへの輸入可能な米は一般消費用の精米された米に限る。なお、実際に米を輸入する際にはメキシコの輸入業者及び、メキシコ政府公認の通関業者 (図 42) との契約が必要となる。メキシコ内で必要となる詳しい手続きは通関業者が情報を所有している。

	PATENTE	AGENTE ADUANAL	CONTACTO	PRODUCTO RECOMENDADO
1	1614	JOSÉ LUIS SALDAÑA CAMACHO	ANALLELY CRISPIN SANTOS TELEFONO: 555571 43 34 acrispin@grupoborder.com.mx	NO JUGUETES, NO QUIMICOS, NO ANIMALES.
2	1760	LEONARDO RODEA PONCE	LORENA FLORES MANDATARIO 552651 85 01 gerencia @saaponceromero.com.mx	TODOS LOS PRODUCTOS.
3	3407	YOLANDA LEYVA SALAZAR	MANDATARIO YANKEL SOL TELEFONO: 55-1333-7870 A.A.S. ITZEL AVILA LEYVA TELEFONO: 55-3223-0867	TODOS LOS PRODUCTOS.
4		EVA PAOLA RECHY MUÑOZ	HIRAM RECHY MUÑOZ hram@cargorechy.com 555782 06 83	TODOS LOS PRODUCTOS/ANIMALES VIVOS.
5	3784	JOSÉ ANTONIO ROJAS CANTO	PAULETTE ROJAS tel. 552603 33 66 paulette@cargomundo.com	TODOS LOS PRODUCTOS
6	3258	CESAR ABURTO LÓPEZ	ERIKA MATEOS LOBATO 562037 39 18 dptocomeral@iabgp.com	TODOS LOS PRODUCTOS/NO QUIMICOS
7	1580	MAGALY CAVAZOS REJÓN	PEDRO AGUIRRE PEÑA 555766 06 50 paguirre@cavazosyca.com	TODOS LOS PRODUCTOS
8	3951	GABRIELA C. VAZQUEZ	HUMBERTO MARISCAL 551590 29 88 556351 1981	NO MENAJES DE CASA NO PERECEDEROS NO ANIMALES VIVOS

図 42 メキシコ政府公認の通関業者のリスト

### 【メキシコにおける米生産】

メキシコでは中粒米、長粒米の2種類のコメが生産されており、生産比率はそれぞれ80%、20%である。中粒米ではMilagro Filipino、Morelosの2品種が生産されており、長粒米はSinaloaが生産されている。MorelosはMorelos州で開発されて、Morelosで栽培されている。Milagra FilipinoとSinaloaの種はブラジルから輸入している。

表 62 メキシコで生産されている米

区分	中粒米	長粒米
見た目	分厚く、中程度の長さ	細長い
特徴	アミロペクチンを多く含む	アミロースを多く含む
品種	・Milagro Filipino ・Morelos	・Sinaloa
生産比率	80%	20%

メキシコの米栽培は、6月中旬から下旬に播種し、天水を用いて栽培し、10月中旬から12月に収穫されるPV: Primavera-Verano (春-夏)、1月から2月に播種し、灌漑水を用いて栽培し、5月上旬から7月に収穫されるOI: Otoño-Invierno (秋-冬)の2期作を行っている。OIは灌漑水を用いているため生産量が安定しているが、PVは天水に頼っているため天候により生産量が左右される。

PVは主にCampeche州、Nayarit州、Michoacán州、Veracruz州、Colima州、Jalisco州、Morelos州で栽培されており、2023年PVの生産量は156.9千tであった(表63)。これは2023年の年間生産量の69%を占めている。また、2023年PVの平均収量は6.7t/haであった(表64)。生産者への買い取り価格は表63にある通り、5,200~5,720MXN/tであった。

OIは主にCampeche州、Nayarit州、Jalisco州で栽培されており、2022/2023年OIの生産量は

67.4 千 t、平均収量は 7.4 t/ha であった (表 64)。

2023 年全体としては、雨が少なかったことから PV の生産量減り、2023 年の年間生産量は 224.3 千 t であった (表 64)。これは 2022 年よりも 9%少なかった。Sistema Nacional de Información e Integración de Mercados (SNIIM)によると、2024 年 1 月第 4 週のメキシコシティ中央卸売市場での卸売価格は、Morelos 精米：34 MXN/kg、Morelos タイプ精米 (Morelos から派生したコメ)：21.5 MXN/kg、Sinaloa 精米：24 MXN/kg であった。

表 63 メキシコ各州の 2023 年 PV のコメ (粳) 生産面積 (ha)、  
生産量 (t) 及び買い取り価格 (MXN / t)

	生産面積 (ha)	生産量 (t)	買い取り価格 (MXN / t)
Campeche 州	2,480	13,705	5,200 (long rice)
Nayarit 州	5,819	31,364	5,720 (coarse rice) 5,420 (long rice)
Michoacán 州	3,496	31,019	5,720 (coarse rice)
Veracruz 州	3,935	32,563	5,500 - 5,700 (coarse rice)
Colima 州	3,090	17,822	No Data
Jalisco 州	2,353	15,611	No Data
Morelos 州	695	7,250	No Data
Others	1,423	7,629	No Data

表 64 メキシコ全土での 2023 年のコメ生産面積 (ha) 及び生産量 (t)

	生産面積 (ha)	生産量 (t)	平均収量 (t / ha)
Total: PV	23,291	156,963	6.7
Total: OI	9,019	67,399	7.4
Total	23,291	224,362	6.9

出典：Servicio de Información Agroalimentaria y Pesquera (SIAP)、Sistema Nacional de Información e Integración de Mercados (SNIIM)

### 【メキシコにおける米消費方法】

メキシコで食事として米を食べる場合、味を付けて食べる 경우가多く、味付けされた米の色に応じて Arroz Blanco (White rice)、Arroz Rojo (Red rice)、Arroz Amarillo (Yellow rice) などがある。米を油で熱し、茶色く色が付いたら、トマト、玉ねぎ、にんにく、ニンジン、塩などをミキサーで液体状にしたものを加え、水分を飛ばすまで炒めて料理する。これらには破碎していない長粒米が好まれ、トマトを入れれば Arroz Rojo (Red rice)、ニンジンを入れれば Arroz Amarillo (Yellow rice)、それらを入れなければ Arroz Blanco (White rice) となる。これらは主食のトルティーヤとは別に、サイドメニューとして食される。また、スープにコメを入れることもある。特に Comida Corrida (家庭料理：Homemade food) でよく米が食べられており、例えば Mole という伝統料理は必ず米と

一緒に食べられる。ただし、米を食べるのは主に昼食でのことで、朝食や夕飯ではほとんど米を食べることはない。加えて、10月～11月、3月には死者の祭りなどのイベントが多くあり、イベントの際に米を食べることからこれら時期は米の需要が高くなる。食事以外にも米は消費されており、デザートとしての Arroz con leche、飲み物としての Atole（朝に飲む）、Agua de horchata などがある。スーパーでは Arroz con leche を小分けにしたものが売られている。Arroz con leche を作る場合は破碎米も使用される。



図 43 Arroz Blanco (White rice)



図 44 Arroz Rojo (Red rice)



図 45 Arroz Amarillo (Yellow rice)



図 46 Mole



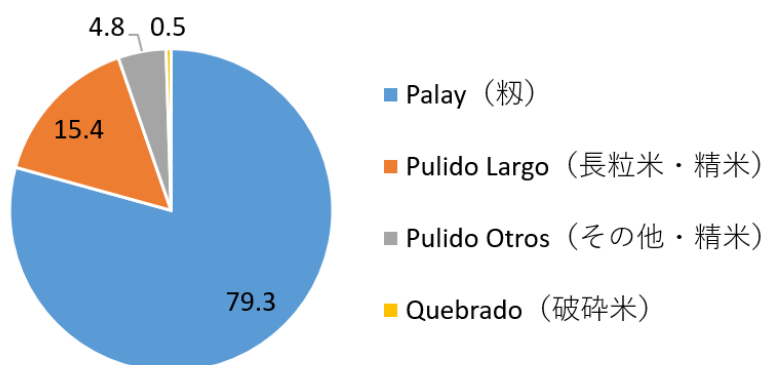
図 47 学食の様子



図 48 Arroz con leche

### 【メキシコにおける米輸入】

メキシコで米は Arroz Paley (粳)、Pulido Largo (長粒米・精米)、Pulido Otros (その他・精米)、Quebrado (破碎米) として輸入される。それぞれの輸入量の比率は、Arroz Paley (粳)：79.3%、Pulido Largo (長粒米・精米)：15.4%、Pulido Otros (その他・精米)：4.8%、Quebrado (破碎米)：0.5%である (図 49)。メキシコでは、米を輸入する際に最も重要なのは値段であり、相対的に値段の安い国から米を輸入している。Arroz Paley (粳) として輸入された米は民間の精米業者 (事項参照) によって精米され流通へと乗る。すでに精米業者による流通が形成されており、粳での輸入が好まれている。なお、Pulido Otros (その他・精米) は Sushi、リゾット用の米、ジャスミンライス、バスマティ米、パーボイルド米などである。



出典：Sistema-Producto de Arroz

図 49 メキシコにおけるコメ輸入形態の比率 (%) 2023

メキシコの米輸入港は Manzanillo Port、Altamira Port、Veracruz Port、Lázaro Cárdenas Port の 4 つがある (図 50)。Manzanillo Port での米輸入量が最も多く、日本含むアジアからの米輸入はここを通して行われる。Altamira Port は次いで大きな米輸入量があり、アメリカ、南米などの近隣諸国からの米を主に輸入している。



図 50 メキシコにおける米輸入港

### 【メキシコにおける米バリューチェーン】

メキシコのコメバリューチェーンにおける主なステークホルダーはサプライヤー、精米業者、マーケットに分けられる（図 51）。特に精米業者（Molino National）が重要な役割を担っており、メキシコ、南米、アメリカの生産者などからコメを**粳の状態**で買い取り、精米、パッキング、流通を行っている。精米業者によりパッキングされたコメは中央卸売業者（Central de Abastos）、スーパーマーケットへと売られる。中央卸売業者は精米されたコメをバルク、あるいは小分けにした状態で仕入れている。中央卸売業者に買われたコメは、ローカルマーケットなどの小売業者、また消費者へと売られる。パッカー（Empacadore）は精米機を有しておらず、精米されたコメを精米業者から買い取り、あるいは精米されたコメを輸入し、パッキングをして小売業者、スーパーマーケットへと売る業者である。

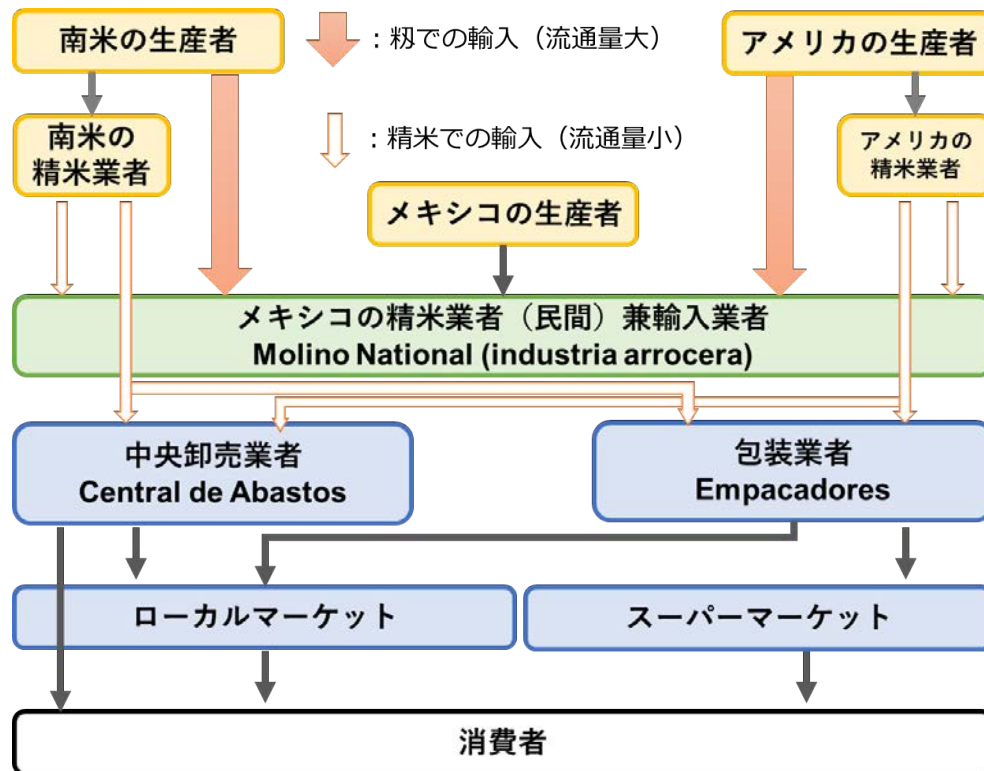


図 51 メキシコにおける米バリューチェーン

メキシコの主なメキシコの主な精米業者（民間）兼輸入業者及び包装業者 Empacadores は

表 65 に記載の通りである。特に Schettino はメキシコで最も大きな米輸入業者であり、輸入米の 60%が Schettino により輸入されている。Schettino は流通網も発達しており、日本から米を輸入する際のパートナーとして推奨される。

表 65 メキシコの主な精米業者（民間）兼輸入業者及び包装業者

分類	企業名	ホームページ
精米業者（民間） 兼輸入業者	Schettino	<a href="#">Schettino Hermanos S. de R.L. de C.V. - Rice Experts</a>
	Granos y Semillas El Patron	<a href="#">Grains &amp; Seeds from Mexico   Grains &amp; Seeds from Mexico (donefe.com)</a>
	La Italiana	<a href="#">Grupo industrial la italiana</a>
	Promexa: Mexican Producer of Rice	<a href="#">Bienvenido a PROMEXA</a>
包装業者 Empacadores	Verde Valle	<a href="#">Homepage - Verde Valle   Your Healthy Company - Verde Valle   Tu Sana Compañía</a>
	El Alazan y El Rocio	<a href="#">Alazán (alazan.com.mx)</a>
	La Merced	<a href="#">La Merced</a>

メキシコの主なスーパーマーケットは表 66 の通りである。Walmart、La Comer、Soriana 等のスーパーは自社ブランドを持っており、そのブランドでも米を取り扱っている。スーパーでは 750g、900g や 1kg 等の小分けにされた状態で米が売られている。一方ローカルマーケットでは米は量り売りされている。

表 66 メキシコの主なスーパーマーケット

オーナー会社	スーパー名	備考
Walmart Stores, Inc.	SAM' s Club	・メンバーカードが必要 ・中間層から富裕層向け ・大容量で販売しており、主な顧客は個人だが、小売業者にも使用されている。
	Walmart	・中間層から富裕層向け ・Great Value という自社ブランドを持っており、米も販売している
	Bodega Aurrera	・低所得層から中間層向け
Grupo La Comer	La Comer	・Golden Hills というブランドを持っており、米も販売している
	Soriana	・低所得層から中間層向け ・Precissimo という自社ブランドを持っており、米も販売している
	Comercial Mexicana	・低所得層から中間層向け
Jose Antonio Chedraui Eguia	Chedraui	・中間層から富裕層向け

Anthony Hatoum	BBB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得層向け</li> <li>・現在メキシコで店舗数を増やしている</li> </ul>
----------------	-----	---

スーパーでの米の小売価格は 138~414 円/kg ほどであり、主に長粒米が売られている(表 67)。また、寿司用の米も 600~780 円/kg ほどで売られている。

表 67 メキシコでの米の小売価格(税抜き)

輸入国	銘柄	円/kg
アメリカ	PRECISSIMO/Grano Largo	138.8
	Schettino/Arroz Super Extra	204.4
	Verde Valle/Arroz Grano Grueso	302.7
ウルグアイ	SOS/Arroz Super Extra	257.3
	Verde Valle/Arroz Super Extra	299.0
	Verde Valle/Arroz Impegable	403.7
メキシコ	Valley Foods/Arroz Super Extra	151.4
	SOS/Arroz Super Extra	261.1
	Soberano/Arroz Super Extra	414.0



図 52 アメリカ産米 302 円/kg



図 53 アメリカ産米 204 円/kg



図 54 ウルグアイ産米 257 円/kg



図 55 メキシコ産米 414 円/kg



図 56 寿司用米 ベトナム産 624 円/kg



図 57 アメリカ産米 780 円/kg

【米消費に関するアンケート結果】

スーパーマーケットにおいて米を購入された方に米消費に関するアンケートを行った。メキシコの主食はトルティーヤであるが、米も週に数回食べていることが分かった（表 68）。一方、中には糖尿病予防のために炭水化物を多く含む米は食べないという声もあった。

表 68 アンケート結果によるメキシコでの米消費

	最小値	最大値	平均値	中央値
週に米を食べる頻度（食/週）	1.00	7.00	2.88	2.00
月に米を購入する量（kg 一人当たり）	0.10	1.50	0.68	0.58
月に米を購入する金額（円 一人当たり）	30.7	877.9	229.9	155.1

米を購入する際の 1 番の決め手は「価格」であった。メキシコでは米に味を付けて食べるため、味を気にする人はそこまで多くはなく、どちらかというところだと破碎米がないか等の質を気にする人が多かった。生産地についてはほとんど気にする人はおらず、また米の包装にも生産地は目立たない小さな字で記載されていた。

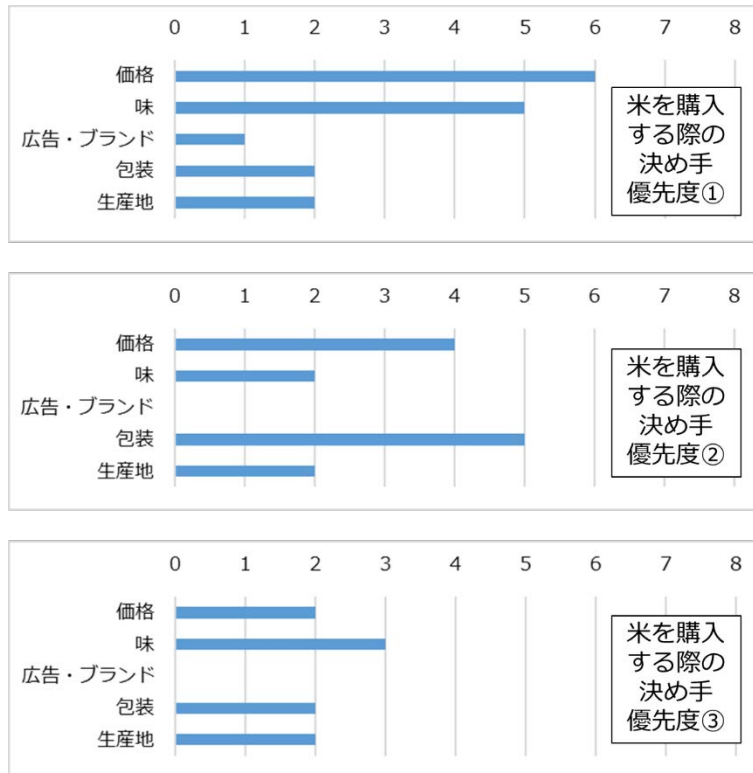


図 58 米を購入する際の決め手。横軸は人数 (n=16)